潜在を顕在化する
奇跡のツール 「StiLL」

第13回
「StiLL事例研究フォーラム」

2010/5/19

共催
株式会社 BCC
日本ファイナンシャル･エンジニアリング株式会社
株式会社 アイエルアイ総合研究所

■□ 「StiLL事例研究フォーラム」プログラム □■

■はじめに　ご挨拶　ILI総研	13:30 –	13:35
第一部　Ⅰ ユーザーソリューション事例 ■情報系システム開発ソリューション 「パッケージシステムデータ連携」 債権等書類管理システム（契約書） ・書類の貸出・保管の管理 ◆Excel、Accessのプログラムの見える化（統制）によるプログラム作成とその管理 システム化・EUC ・Q&A	13:35 –	14:30 P 4～17
～休憩（15分）～	14:30 –	14:45
第二部　Ⅱ ソリューション事例　発表 ILI総研 ■「StiLL」とは? ◆「StiLL- X」による集計・業務システム自由自在!!　ExcelシステムからBI 経営ダッシュボードまで ■基幹システム連動 ◆「StiLL- X」による集計スーパーアプリケーション　WebサーバーExcel・CSV データ集計 ■Excel+「StiLL」のシンクライアント、Web型 ・Q&A	14:45 – 15:35 – 15:45 –	15:15 P18～27 15:35 P28～37 15:45 P38～44
～休憩（15分）～	15:45 –	16:00
■「StiLL」のプログラム実践　発表 ILI総研 ◆ StiLLオプションプログラム様々な機能 ◆「StiLL」新機能と「StiLL」集計開発実践 ■「StiLL- X」 How to Use　こんな機能あんな機能 ◆定期コンタクトメールの概要・使い方 ■Excelワンポイントレッスン ■おわりに ■個別相談コーナー （共催各社の担当に、システムやソフトの詳細等を直接ご質問いただけます）	16:00 – 16:20 – 16:30 –	16:20 P45～46 16:30 P47～52 P53-
～フォーラム終了～		

アライアンスシステム構築について
“夫々の実力を活かし補完する”

ビジネスシステム構築アライアンス

お客様

■情報系業務システム
BI システム構築

お客様
システム提供
相互
補完関係!

同じ方向を向き
得意とするところが違う3 社。
連携してお客様にいいものを
安くシステム提供!!!

株式会社
ＢＣＣ

■コンサルティング
システム構築&サポート

日本ファイナンシャル・エンジニアリング株式会社

■情報系
ビジネスシステム構築
BI コンサル
KPI コンサル
金融･製造･流通等

株式会社
アイエルアイ総合研究所

■「StiLL-X」
Excelプラットフォーム
プログラム開発ツール
「StiLL Xcelsius」

◆開発を依頼

◆自社内で開発する

この観点から

本日のテーマ

どんなソリューションを実現できるのか?

ご確認下さい。

共催

日本ファイナンシャル･エンジニアリング株式会社

株式会社ＢＣＣ

株式会社アイエルアイ総合研究所

◆ システム事例紹介Ⅰ◆

2010/5/19

システム名　債権書類管理システム

会社名　○○株式会社　様
業種　金融業
規模　従業員 50名
所在地　東京都

■システム概要-1

＜導入背景と狙い＞

弊社は金融機関からきた債権を、金融機関に代わり、債権の回収行為を行っております。債権取引時に金融機関より金銭消費貸借契約書、銀行取引約定書、貸付手形など各種書類を受領しますが、設立当初からの書類が累積し、事務所内保管が難しくなったことから、外部倉庫会社へ保管をお願いしております
(現在約2,000**箱強　<箱寸法**330×400×300mm**>預けております。)**

書類増加と倉庫会社との出し入れが多くなり、書類の取り扱いに関わる情報保護、保管状況把握が難しくなったので、システム導入を検討しました。

＜導入の経緯＞

書類の状況把握を債務者単位でExcel**で管理しておりましたが、債務者数増加で**Excel**の作成限界を超え、検索によるレスポンスタイムの低下、ファイル破損が発生しました。**

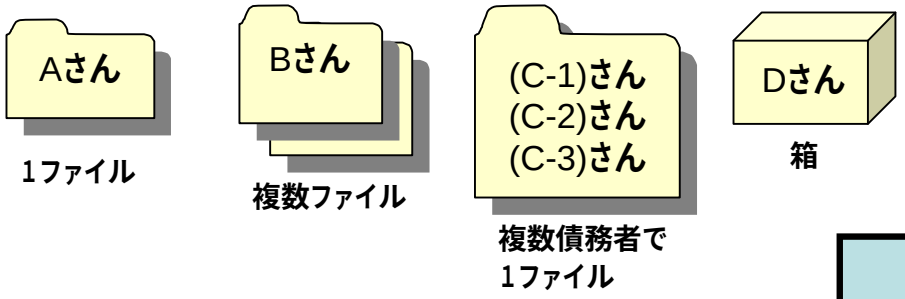
MS-Access**での開発を考えましたが、端末側にソフトがインストールされていない・**Excel**のリスト管理をそのイメージでシステム化可能と開発コスト削減のため、「**StiLL**」での開発を依頼しました。**

■システム概要-2

＜システムの概要＞

・債権買取後、延滞債権管理システムより債務者情報を抽出 → 債権書類管理システムへインポート。

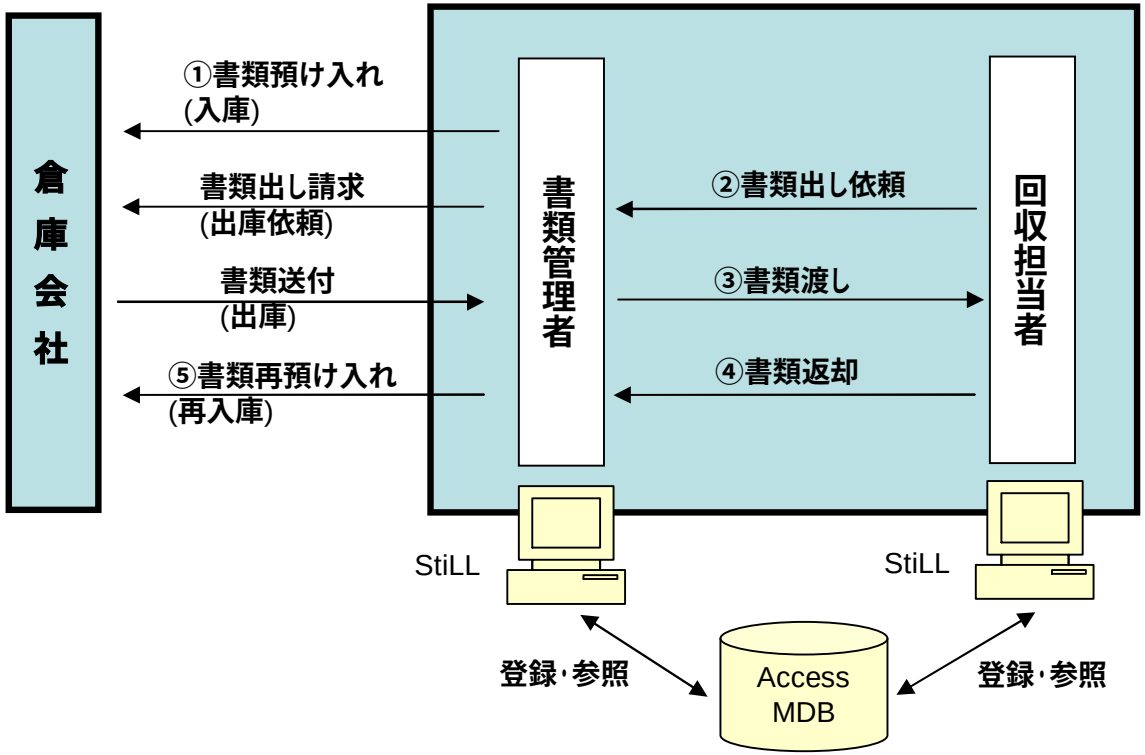
・書類の格納方法を登録 → ①書類管理者が倉庫会社へ書類を預け入れ → システムへ預け入れ登録。



・②書類の出し入れを回収担当者がシステム上で依頼
→ 書類管理者は回収担当者のシステム登録状況から倉庫会社へ書類の出し入れを請求。

・③書類管理者は手元に届いた書類を回収担当者へ渡す
→ システムへ受け渡し登録をする。

＜＊回収担当者が書類を倉庫会社へ返却する場合＞
・④回収担当者が書類管理者へ書類を返却
→ システムへ書類受領登録。
・⑤書類管理者は倉庫会社へ書類の再預け入れ
→ システムへ再預け入れ登録。

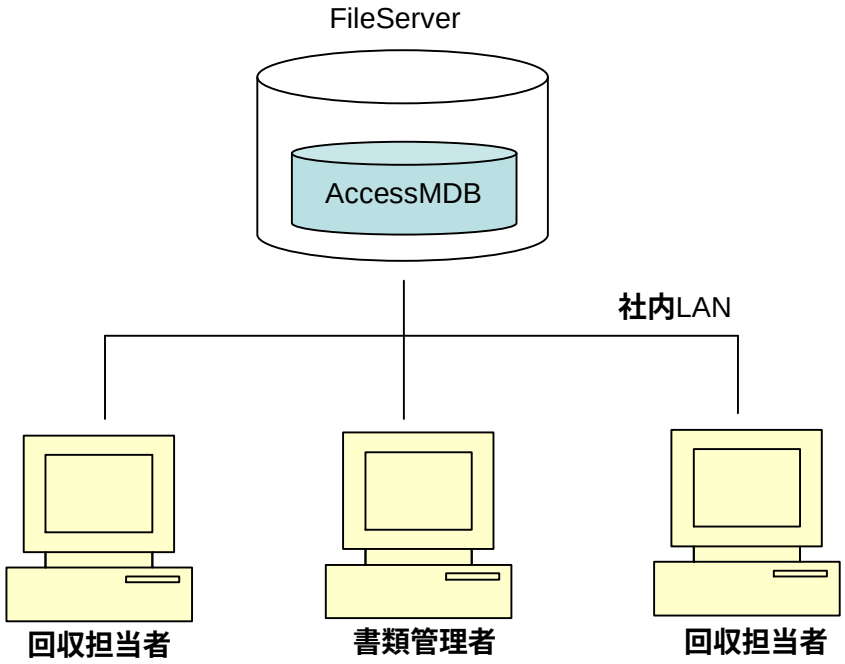


＜システムの特長･成果＞

･書類の所在を確認できる → 履歴で書類の一連の流れを把握できる(誰が出庫依頼したか？書類の授受を誰が行ったか？)。

･既存のソフトウェアで対応できるため、ライセンスコストが不要。

･レスポンスが速い。



＜今後の展望＞

･書類の授受に紙出力が発生します。大量に処理する場合、数百枚刷ることがあるため、ペーパレス化に向けて改修する必要があります。

･倉庫会社へ預け入れた箱の中には、半分の容量しか収めていないものもあるので、棚卸し機能をつける必要があります。

→完済したお客様には、契約書類を返却する義務があるため、回収が進むと空の箱が多くなる。

■ユーザー事例　「債権書類管理システム」(データ取り込み 1)概要

・書類管理者は延滞債権管理システムよりデータ抽出。
　→債権書類管理システムへインポート。
・書類の属性を登録。
・Eメール送信用データの作成。
・集荷指示書を出力、FAXで送信。
・倉庫会社へ書類を引き渡すときに
　「寄託申込書兼受取書」を添付

＊延滞債権管理システムのデータ

Microsoft Excel - SAIKEN.csv

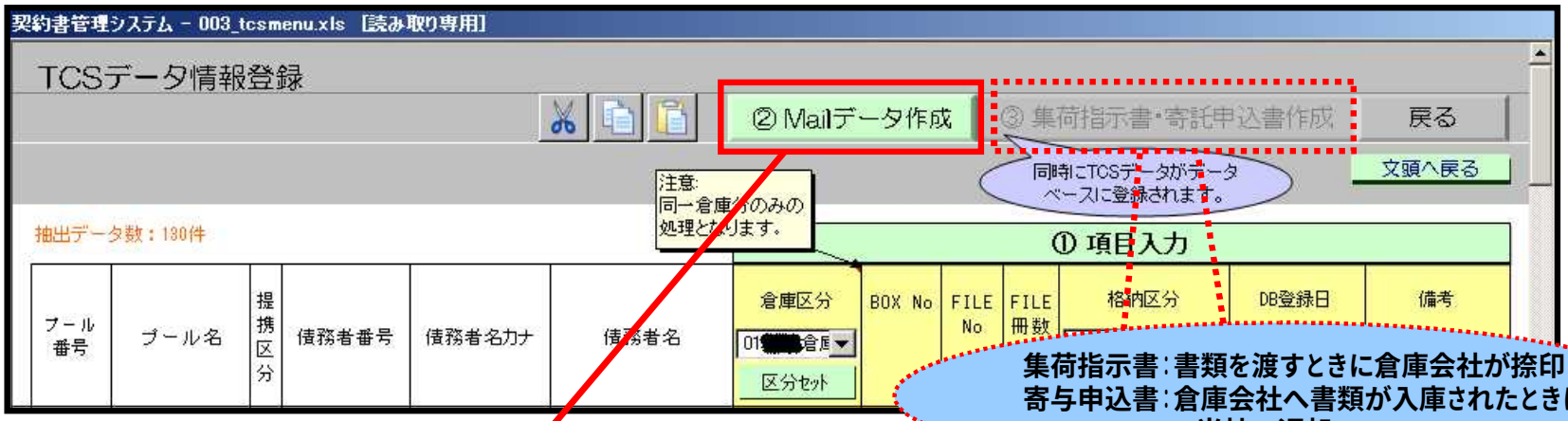
	A	B	C	D	E	F	G	H
1	債務者番号	プール名	債務者名カナ	債務者名	倉庫区分	プール番号	提携区分	
2	20041610001	JBA福岡ローンセンター	ﾀｶﾀﾞﾌﾐｵ	高田　文夫		161	2	
3	20041610002	JBA福岡ローンセンター	ｲﾄｲｺﾞﾛｳ	糸居　五郎		161	2	
4	20041610003	JBA福岡ローンセンター	ｺｳｶﾞﾐｼｮｳｼﾞ	鴻上　尚史		161	2	
5	20041610004	JBA福岡ローンセンター	ｳｴﾔﾅｷﾞﾏｻﾋｺ	上柳　昌彦		161	2	
6	20041610006	JBA福岡ローンセンター	ﾀﾆﾔﾏﾋﾛｺ	谷山　浩子		161	2	
			ｻｲﾄｳｱｷﾉﾌﾞ	斉藤　昭信／斉藤　芳郎		161	2	
			ﾀｶﾊｼﾕｷﾋﾛ	高橋　幸広		161	2	
			ﾅｶｼﾞﾏﾐﾕｷ	中嶋　美由紀		161	2	
			ﾔﾏｸﾞﾁﾘｮｳｲﾁ	山口　了一		161	2	
			ｺﾔﾏﾏﾐ	小山　真実		161	2	
			ﾔﾏﾓﾄｶﾝｽｹ	山本　勘助		161	2	
			ﾀｹﾀﾞﾊﾙﾉﾌﾞ	武田　晴信		161	2	
			ｱﾘｶﾜｼｭｳｲﾁ	有川　周一		161	2	

CSV形式で抽出し、債権書類管理システムへインポート

書類の封入方法を選択

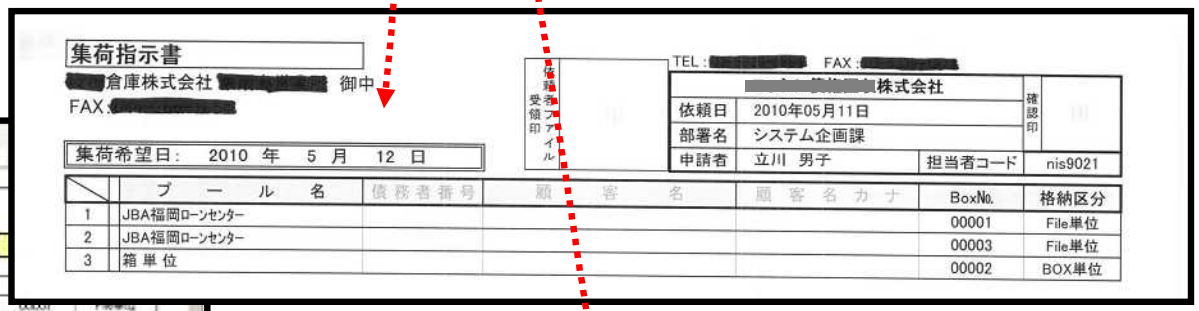
書類の属性、封入する箱番号を入力

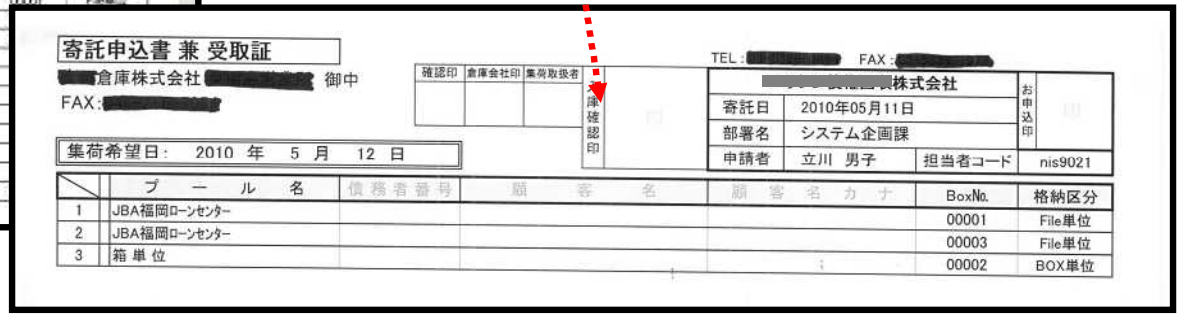
■ユーザー事例　「債権書類管理システム」(データ取り込み 2)概要



集荷指示書：書類を渡すときに倉庫会社が捺印
寄与申込書：倉庫会社へ書類が入庫されたときに捺印
→当社へ返却

事前に箱の中身の情報を
Eメールで送信

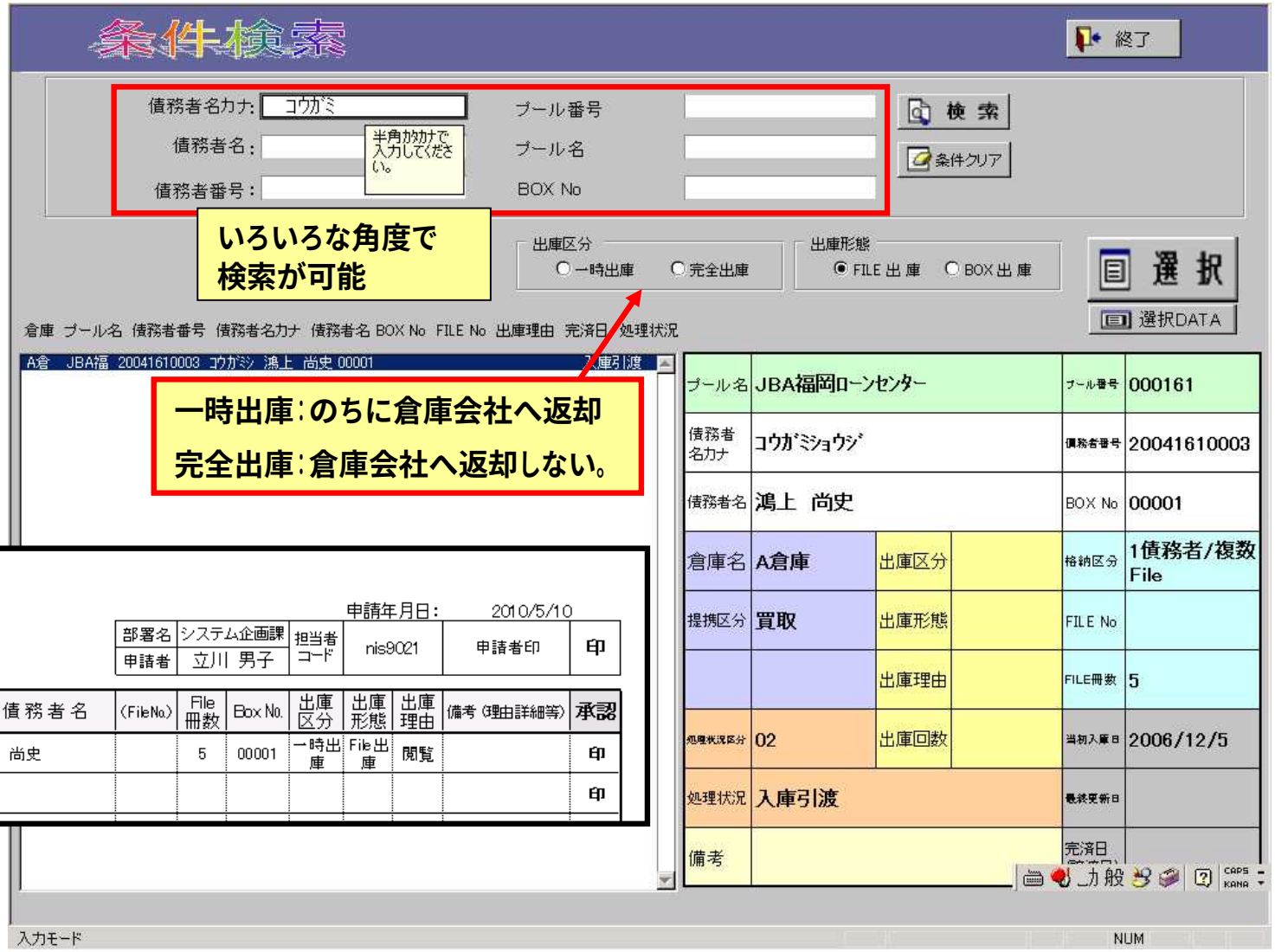




■ユーザー事例　「債権書類管理システム」(出庫申請)概要

・回収担当者が書類取り寄せの申請を行う。
・検索方法は延滞債権管理システムと同じ手法を採用。

取り寄せる書類を確定させると、書類管理者へ渡す申請書類を出力する。



出 庫 申 請 書

事 務 企 画 課 殿

申請年月日：　2010/5/10

部署名	システム企画課	担当者コード	nis9021	申請者印	印
申請者	立川 男子				

	プール名	債務者番号	債務者名カナ	債 務 者 名	(FileNo.)	File冊数	Box No.	出庫区分	出庫形態	出庫理由	備考 (理由詳細等)	承認
1	JBA福岡ローンセンター	20041610003	ｺｳｶﾞﾐｼｮｳｼﾞ	鴻上 尚史		5	00001	一時出庫	File出庫	閲覧		印
												印

■ユーザー事例　「債権書類管理システム」(出庫依頼)概要

・書類管理者が出庫申請書をもとに、倉庫会社へ取り寄せ請求を行う。
・書類管理者が確定処理を行い、倉庫会社への依頼書をFAXで送付する。

出庫申請一覧確認・出庫依頼書出力

印刷のみ　② 出庫依頼表出力・データ更新　終了　文頭へ戻る

出庫依頼をする場合「○」、「○」をクリアする場合は「CL」のボタンを押して下さい。

抽出データ数：1件

プール番号	プール名	提携区分	債務者番号	債務者名カナ	債務者名	倉庫区分	出庫区分	出庫理由	BOX No	FILE No	FILE冊数	格納区分	出庫回数	出庫形態	処理状況	備考	① 出庫分指定 ○ / CL
000161	JBA福岡ローンセンター	02	20041610003	ｺｳｶﾞﾐｼｮｳｼﾞ	鴻上　尚史	01:A倉庫	01:一時出庫	01:閲覧	00001		5	03:1債務者/複数File	0	1:File出庫	04:出庫依頼		○

回収担当者の出庫申請書をもとに確定処理を行う。

次ページ(N)　前ページ(P)　ズーム(Z)　印刷(T)...　標準(V)　閉じる(C)

出庫依頼書

[redacted]倉庫株式会社 [redacted] 御中
FAX:[redacted]

TEL：[redacted]　FAX：[redacted]

[redacted]株式会社		お届け印	印
依頼日	2010年05月10日		
部署名	システム企画課		
申請者	立川　男子	担当者コード	nis9021

配達希望日：2010 年　5 月 14 日

	プール名	債務者番号	債務者名		債務者名カナ		BOX No	出庫区分	出庫形態
1	JBA福岡ローンセンター	20041610003	鴻上　尚史	1	ｺｳｶﾞﾐｼｮｳｼﾞ	1	00001	一時出庫	File出庫
2	JBA福岡ローンセンター	20041610003	鴻上　尚史	2	ｺｳｶﾞﾐｼｮｳｼﾞ	2	00001	一時出庫	File出庫
3	JBA福岡ローンセンター	20041610003	鴻上　尚史	3	ｺｳｶﾞﾐｼｮｳｼﾞ	3	00001	一時出庫	File出庫
4	JBA福岡ローンセンター	20041610003	鴻上　尚史	4	ｺｳｶﾞﾐｼｮｳｼﾞ	4	00001	一時出庫	File出庫
5	JBA福岡ローンセンター	20041610003	鴻上　尚史	5	ｺｳｶﾞﾐｼｮｳｼﾞ	5	00001	一時出庫	File出庫

依頼書を出力し、FAXで送付する。

■ユーザー事例　「債権書類管理システム」(書類受領)概要

・書類管理者は倉庫会社より書類が届き次第、受領処理を行う。その際、回収担当者との書類受け渡しを確認するための書面（受渡票)を作成する。

書類受領処理を行う。

処理変更画面：04出庫依頼→05出庫受領（倉庫から品物到着時に登録）

印刷のみ　受渡票出力・処理状況更新　終了

抽出データ数：1件

プール番号	プール名	提携区分	債務者番号	債務者名カナ	債務者名	倉庫区分	出庫区分	出庫理由	BOX No	FILE No	FILE冊数	格納区分	出庫回数	出庫形態	処理状況
000161	JBA福岡ローンセンター	02	20041610003	ｺｳｶﾞﾐｼｮｳｼﾞ	鴻上　尚史	01:A倉庫	01:一時出庫	01:閲覧	00001		5	03:1債務者/複数File	1	1:File出庫	04:出庫依頼

印刷確認

処理状況を「05:出庫受領」に変更して、受渡票の印刷とデータ更新を行います。よろしいですか？

OK　キャンセル

倉庫会社より書類受領
↓
回収担当者との受渡票を出力

出庫書類受渡票（一時出庫　）

部署名
依頼者
依頼日
出庫理由　閲覧

プール名　JBA福岡ローンセンター
債務者番号　20041610003
債務者名カナ　ｺｳｶﾞﾐｼｮｳｼﾞ
債務者名　鴻上　尚史
Box No.　00001　出庫形態　File出庫
File No.　File冊数　5
完納日
備考

引渡者
受領者　受領日　/　印

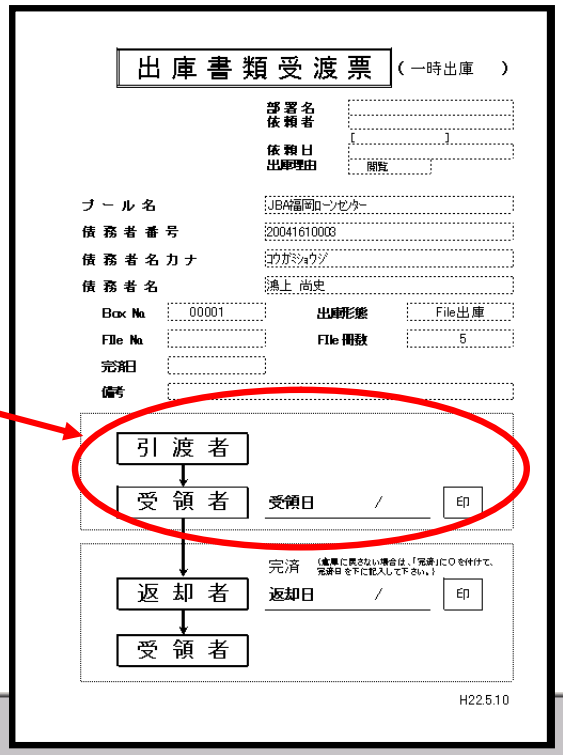
完済　（点検に異さない場合は、「完済」に○を付けて、完済日を下に記入して下さい。）
返却者　返却日　/　印
受領者

H22.5.10

■ユーザー事例　「債権書類管理システム」(回収担当者へ書類引渡)概要

・書類管理者は、回収担当者へ書類を渡し、受領票へ捺印をもらう。
・捺印後、「債権書類管理システム」で受領処理を行う。

回収担当者より捺印をもらう。


出庫書類受渡票（一時出庫）

部署名
依頼者
依頼日
出庫理由　閲覧

プール名　JBA福岡ローンセンター
債務者番号　20041610003
債務者名カナ　コウガショウジ
債務者名　鴻上 尚史
Box No.　00001　出庫形態　File出庫
File No.　File冊数　5
完納日
備考

引渡者
受領者　受領日　/　印
完済　（倉庫に戻さない場合は、「完済」に○を付けて、完済日を下に記入して下さい。）
返却者　返却日　/　印
受領者

H22.5.10

書類取り寄せを依頼した回収担当者の名前がリスト表示される。

処理変更画面：05出庫受領→06書類引渡（事務管理から申請者へ）

立川　男子
立川　男子
① 検索
② 06:書類引渡セット
③ 処理状況更新
終了
文頭へ戻る

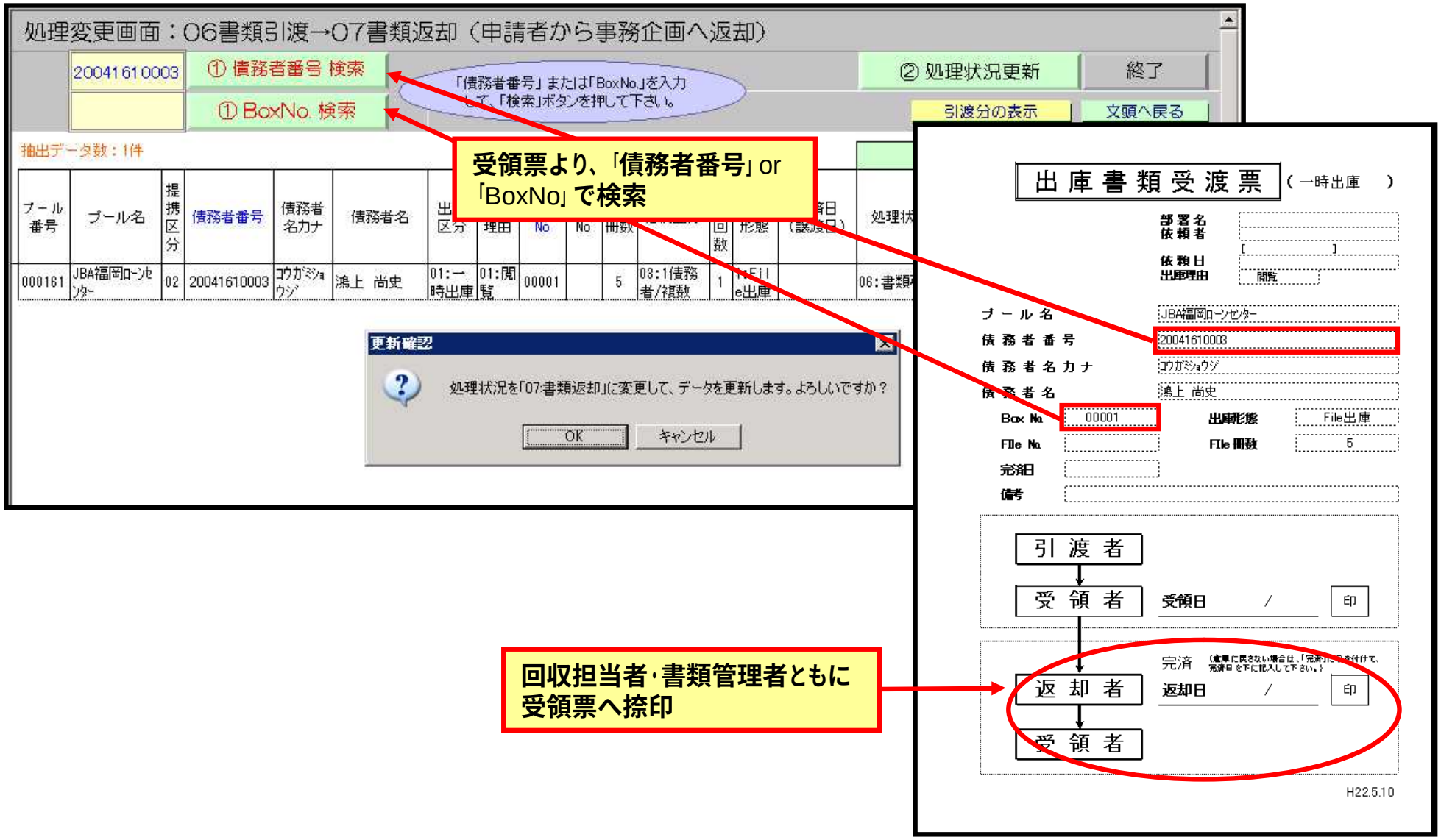
1. リストから出庫依頼者を選択して、「検索」ボタンを押してください。
2. 更新してわからなくなった場合、当画面を閉じて再度開いてください。

抽出データ数：1件

														項目入力		
プール番号	プール名	提携区分	債務者番号	債務者名カナ	債務者名	倉庫区分	出庫区分	出庫理由	BOX No	FILE No	FILE冊数	格納区分	出庫回数	出庫形態	処理状況	備考	授受者登録
000161	JBA福岡ローンセンター	02	20041610003	コウガミショウジ	鴻上 尚史	01:A倉庫	01:一時出庫	01:閲覧	00001		5	03:1債務者/複数File	1	1:File出庫	05:出庫受領		

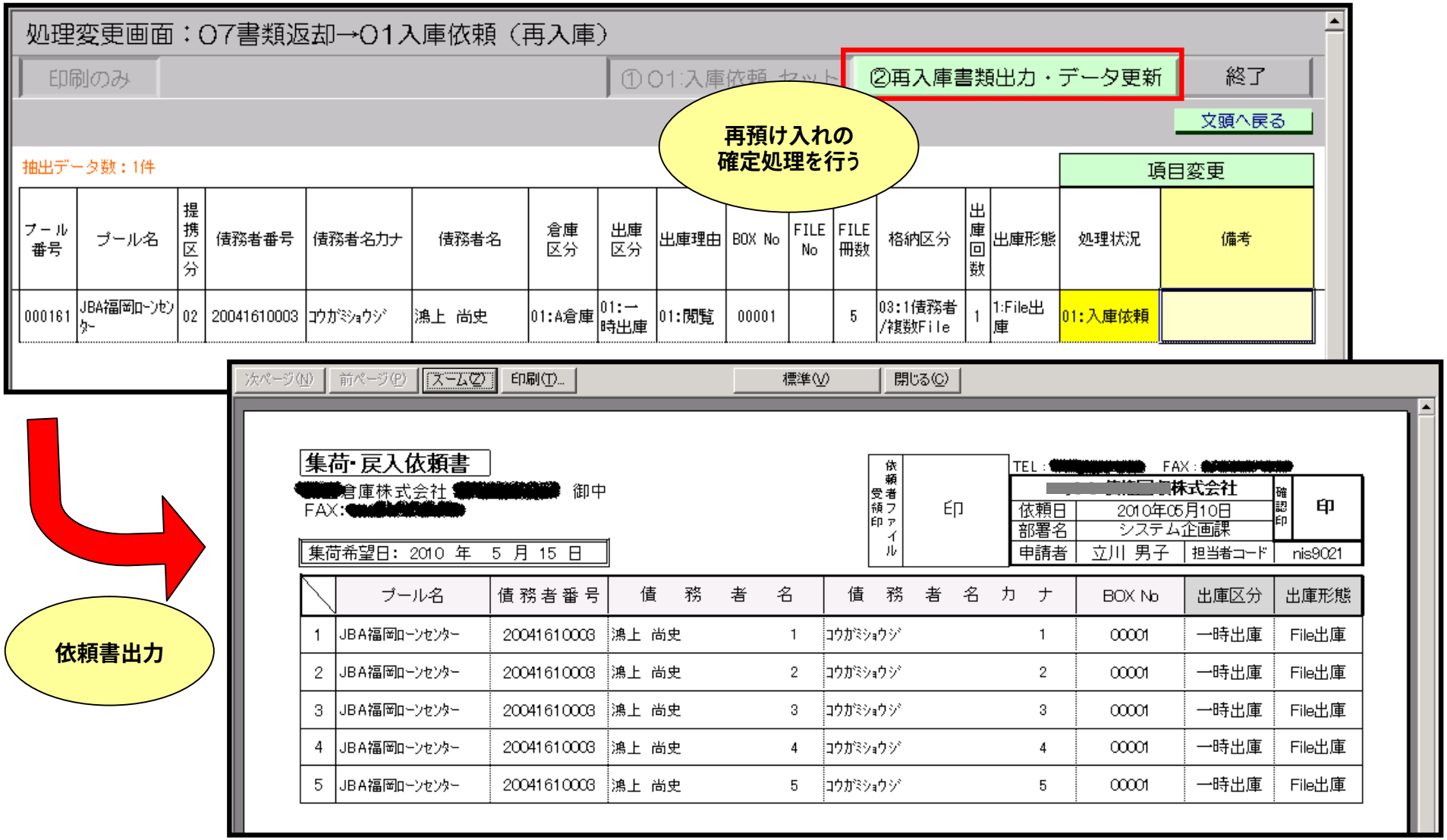
■ユーザー事例　「債権書類管理システム」(回収担当者より書類返却)概要

・回収担当者より書類が返却される　→　回収担当者・書類管理者ともには受渡票へ捺印をする。
・書類管理者は「債権書類管理システム」で受領処理を行う。



■ユーザー事例　「債権書類管理システム」(再入庫)概要

・書類管理者は、倉庫会社へ再預け入れ処理を行う。
・書類管理者が確定処理を行い、倉庫会社への依頼書をFAXで送付する。



■ユーザー事例　「債権書類管理システム」(倉庫会社へ書類引渡)概要

・書類管理者は、倉庫会社へ書類を渡す　→　書類引渡処理の実行。

＊書類は倉庫会社へ戻る

■作成プロセスとその評価　全体的

【システム企画】
・作成方法、プロセス・・・延滞債権管理システムより債務者情報を含む必要データを抽出、債権書類管理システムへ取り込み。稼働環境：LAN/WAN
・その評価・・・・・・・・・・・書類の所在を把握、入庫・出庫の手続きをルール化。

【要件定義】
・回収担当者が延滞債権管理システムと同様のオペレーションで出庫手続きができるように配慮する。
・倉庫会社への入庫・出庫手続きがシステムから継続してできるようにする。
・書類の管理状況、入庫・出庫経緯がわかるように履歴をとること。

【開発期間、コスト・技術】
・納品までに期間を要したが、他社よりは低予算で開発できた。
・開発はすべてILI様にお願いしましたが、弊社システム担当がStiLLの技術を学ぶことでカスタマイズが可能となりました。

【検証、テスト稼動】
・プロトタイプにて約2ヶ月、仕様変更による修正を含めた上でテストを約4ヶ月実施しました。

【本稼働】
・納品後、部署の統廃合、業務プロセスの見直し等で1年後に稼動、現在順調に稼動しております。

【追加、修正】
・回収担当者でも書類の所在が確認できるよう、検索画面を追加しました。
・誤操作を防止するため、ボタンを押したら、戻らないようにした。

【継続性】
・書類の所在が明確になったこと、書類管理者の業務効率が上がったことが評価されました。

■ユーザー事例　「債権書類管理システム」開発ポイント

「StiLL」のシステムポイント

Excelのシステム～Web システムまで

様々なシステム事例：Excel・Access・DBシステムCSV、TXT、Webシステム等

Excelプラットフォーム 新開発手法

①ユーザーの作成したExcelシートを元に
②動く要件定義書によるスパイラル型設計・開発

表現力豊かなシステムデザイン

①豊富なExcelコンテンツ
②様々な業務に合った「StiLL」コマンド

システム稼動後の改善（修正・追加）がスムーズ

①修正・追加が行いやすく確認しやすい
②データベースのデータ活用自由自在!!

システムポイント実施内容

CSVデータをStiLLで連動。
基幹ＤＢから出るCSVデータを組み込んでMDBに登録する形式のデータベースを構築しました。

スパイラル型プログラム作り。
①お客様 からのExcelシートを元にプロトタイプを作成し、随時確認を行っていただき都度調整を行ないました。
②StiLLの連続実行機能のカスタマイズの行いやすさにより、機能追加なども確認・やり取りなどがスムーズでした。

状態に応じた様々な表現が可能です。
①リスト画面など各インターフェースはユーザーに確認して頂きその都度調整を行ないながら、機能・ボタン配置・リストの書式などユーザーの方々が納得のいくものに仕上げました。
②ログイン設定など、StiLLにあらかじめ用意されていたシステムテンプレートを活用しスムーズに作成することができました。

機能追加に対応しやすいプログラム作り。
①1画面1Excelファイルで作成していますので、修正や機能追加などへの対応も、該当ファイルのやり取りだけでスムーズに進めることができました。
②SQL文を知らなくても様々な条件によるデータの取得を行なうことができました。排他処理等も簡単に設定できて、データベースと連動する仕組みが容易に作成できました。

「StiLL」とは?

◎「StiLL」とは

「StiLL」とはExcelをプラットフォームとしたプログラム開発ツールです。
Excelにアドインし、コーディングをしないプログラム作成を実現しました。
Excel、Access、SQLserver、Oracle 等のデータベースシステムが
スタンドアローンからLAN・WAN・Web上で稼働します。

◎「StiLL」で出来る事

■基幹システムや基幹連動システム
■実務業務標準化、共有システム作成
■ユーザ・技術者の情報 リテラシ向上

◎「StiLL」利用効果

■業務目的にあった的確なシステム
■短期間・低コストのシステム開発
■修正等メンテナンススムーズ

Excelの構造を補完!
Excelに機能追加
をしています。

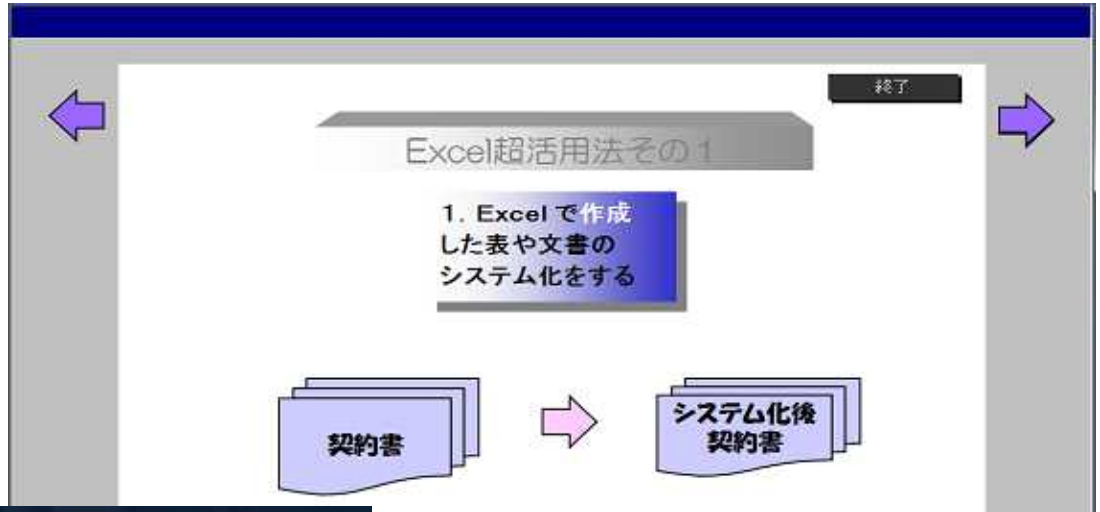
・画面制御
・分離独立
・スピード
　ダウンロード
　計算式
・上位互換
・作成方法
・Mail、画像他

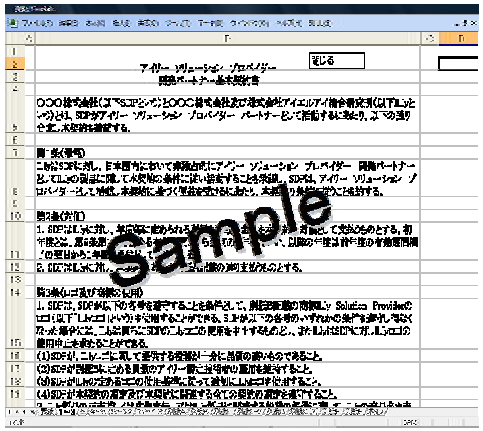
◆Excel、Access、SQLserver、Oracle等 データベースシステム
◆基幹・業務・情報系・ビジネスプロセスデザイン等
◆スタンドアローンからC/S Webシステム
　BI システム経営ダッシュボード　の構築が可能です。

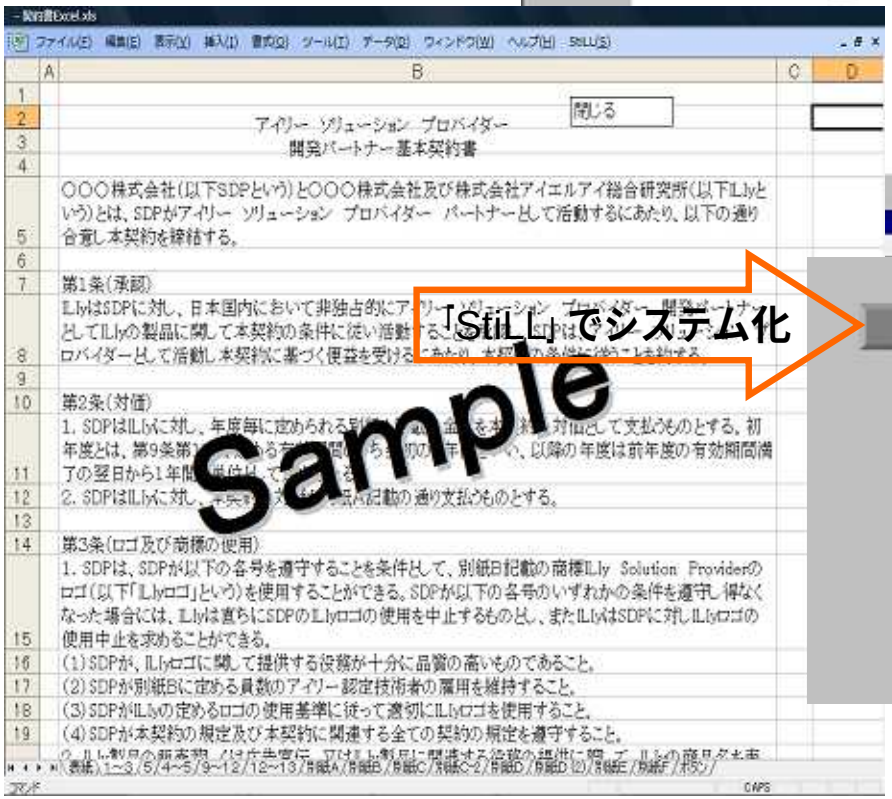
そして
・最適な技術と費用で最大効果のシステムを
・納得のスパイラル型 新開発手法
・業務ノウハウと技術を融合するシステムの 実現をします。

契約書システム

開発工数→ 1/5以下
開発依頼→ 1/2以下







「StiLL」でシステム化

データ検索高速ダウンロード

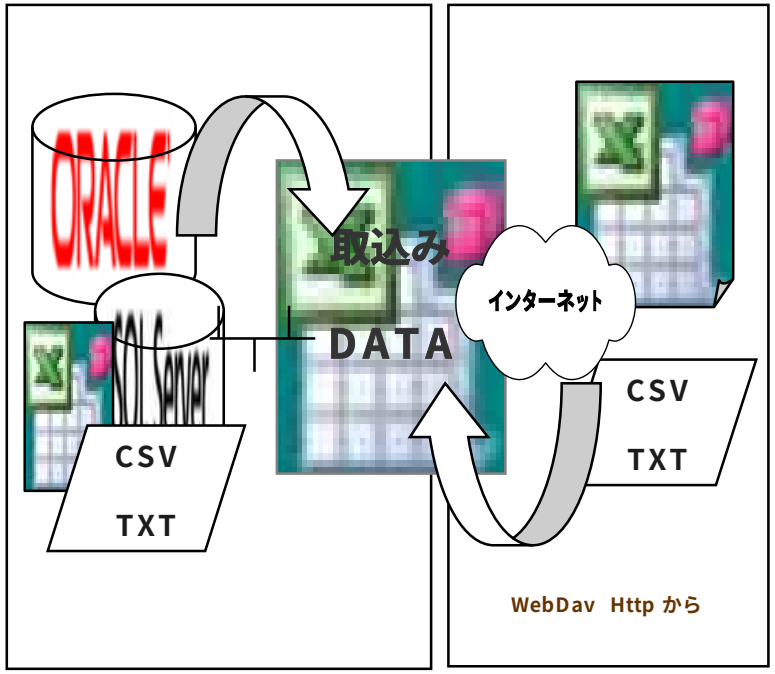
■対象ネットワーク

- 自己PCドライブ¥フォルダー
- C/S 設定ドライブ¥フォルダー
- LAN、WANネットワーク コンピュータドライブ¥フォルダー
- HTTP/フォルダー　プログラムログイン可

■対象データ

- Excelシートデータ
- CSVデータ
- TXTデータ
- DBデータ　ODBC 経由

データダウンロードスピード
VBAの20倍

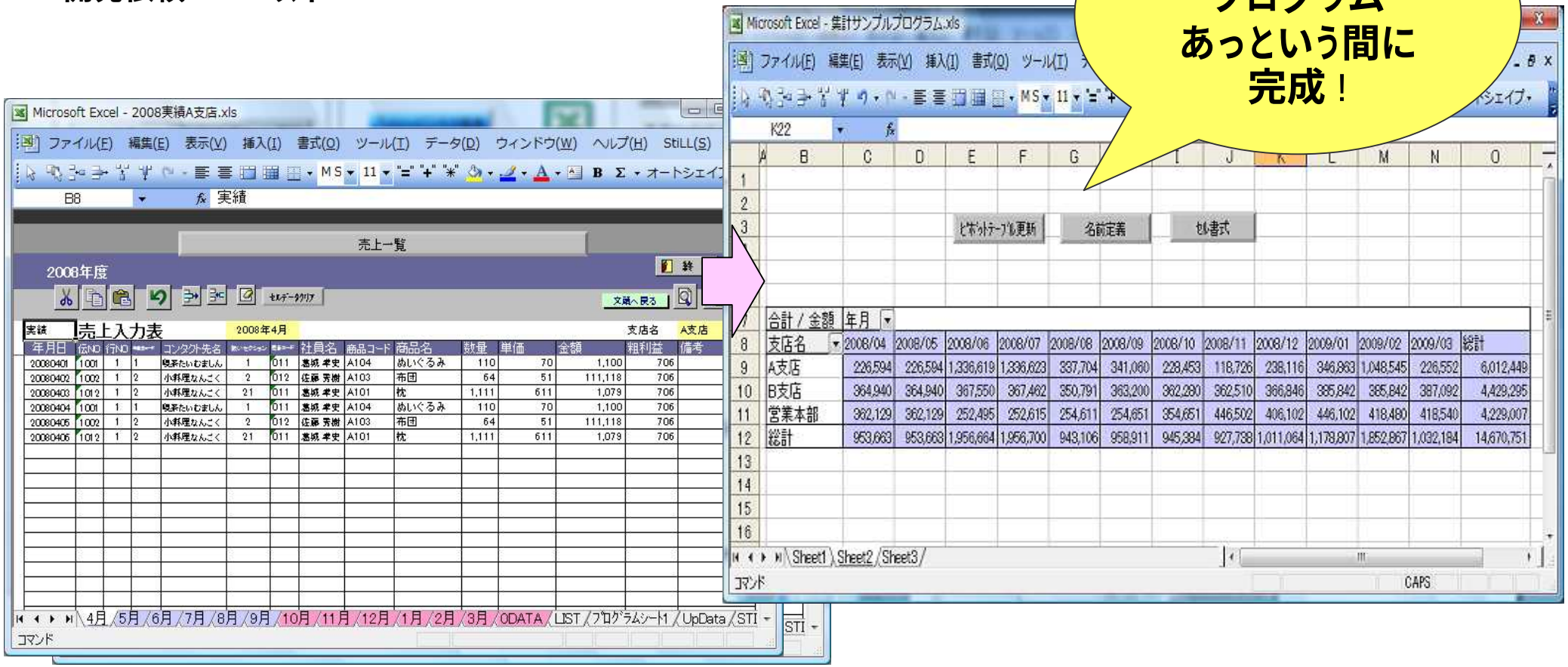


Excelのシステム

開発工数→ 1/5以下
開発依頼→ 1/2以下

「StiLL-X」新機能を活用

ボタン自動実行
プログラム
あっという間に
完成！



複数ブックの月別のシートのデータ集計のプログラム
ブック間リンク不要・数式なし・マクロ、VBA不要

Accessシステム作成

（消費税別途）

「StiLL-X」新機能を活用

自社で作る → 98,000.- ～

開発を依頼する → 100,000.- + 9,800.- ～

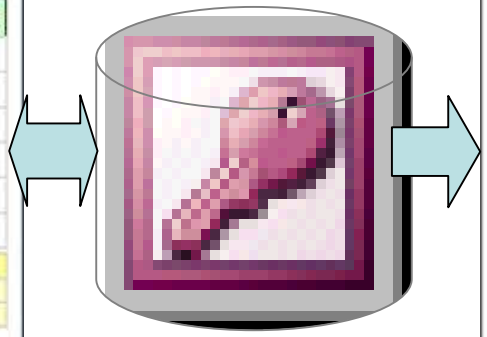
開発工数→ 1/3以下

開発依頼→ 1/2以下

マクロ・VBA不要！

MDBのフォーム、レポート、ページ、マクロ、モジュール設定不要

処理スピード20倍



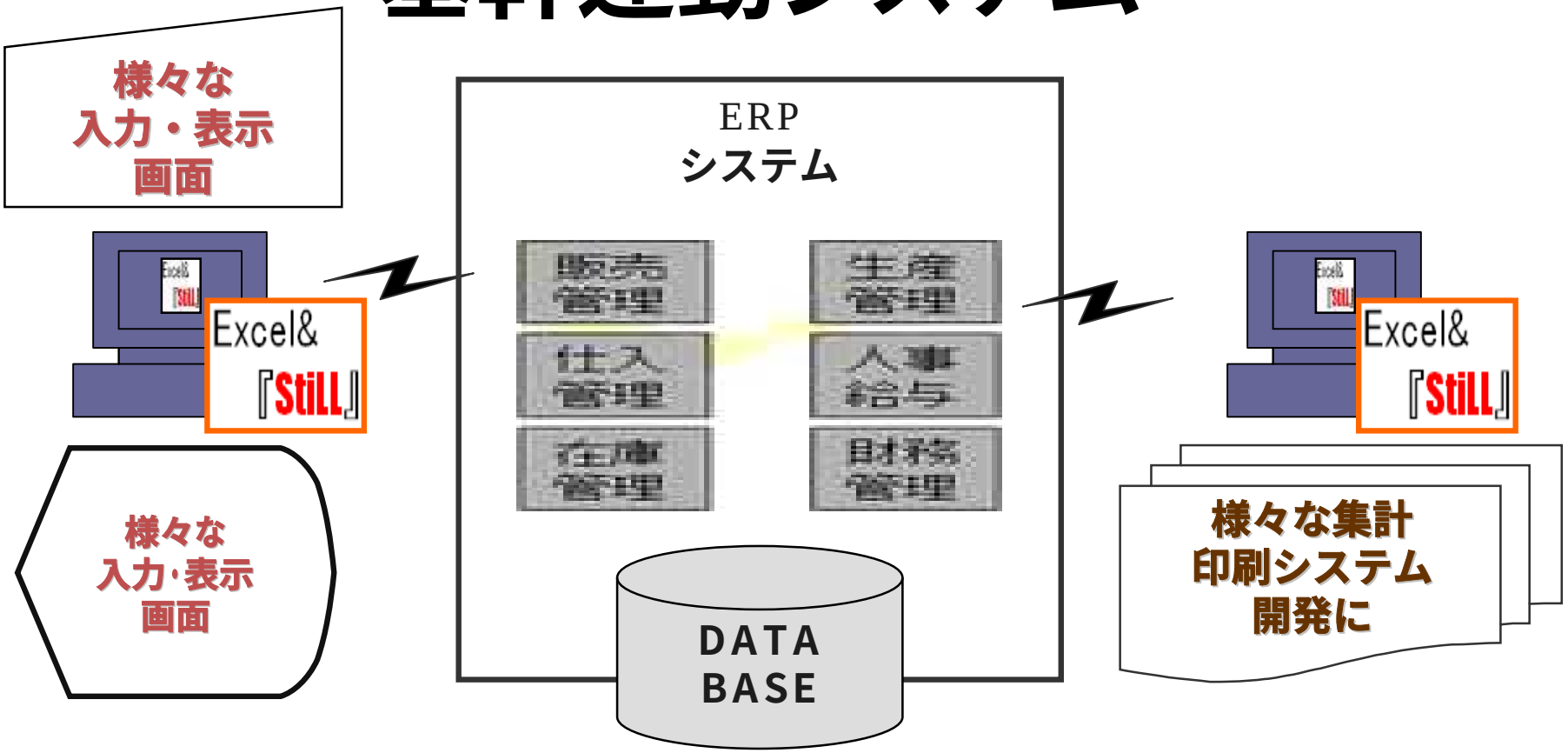
Excelと「StiLL」と.mdbでシステム作成すると

作りやすい・直しやすい・・だから個人に依存しないプログラムになる。

短時間・低コスト・メンテナンススムーズ　システム作り

C/S 形態 OK

基幹連動システム



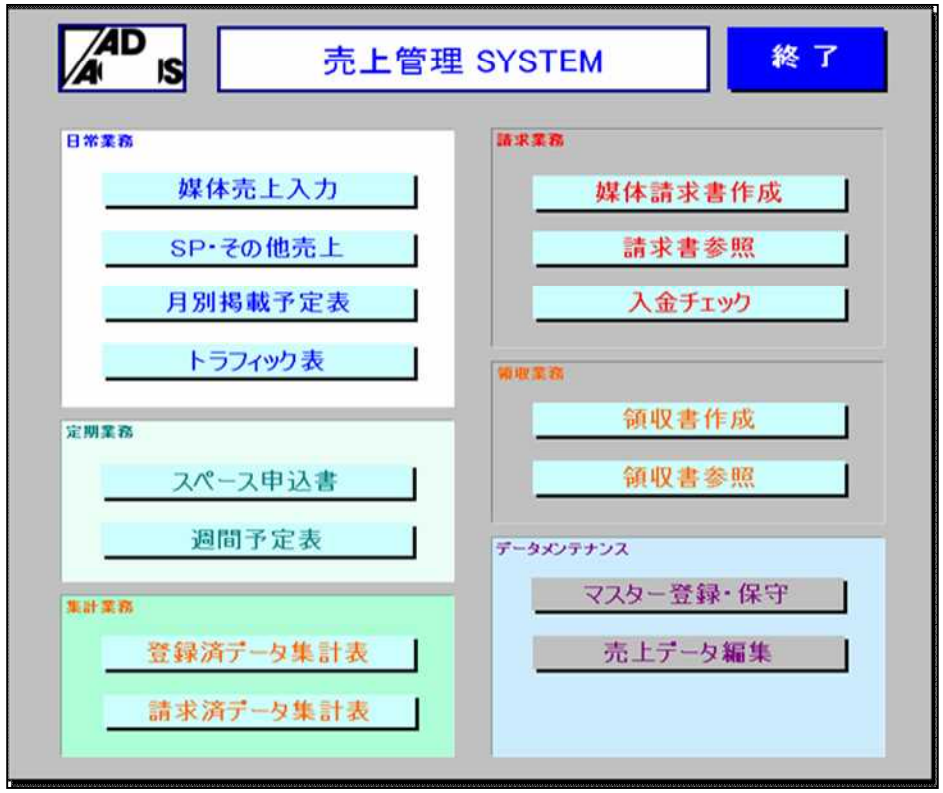
◆仕事に活かすシステム作り
部門ノウハウ入り
システム構築実現

◆二重入力を避けるシステム

◆ プロセスデザインシステム

小規模DB構築

市販パッケージにはない機能
基幹システム及び
拡張管理DBシステム構築



■ 創意工夫を活かし、自社の仕事の手順に合わせて、情報システムを導入したい。

■ ビジネス環境変化に柔軟に対応するため、システム導入後にソフトの修正・変更を自在に行いたい。

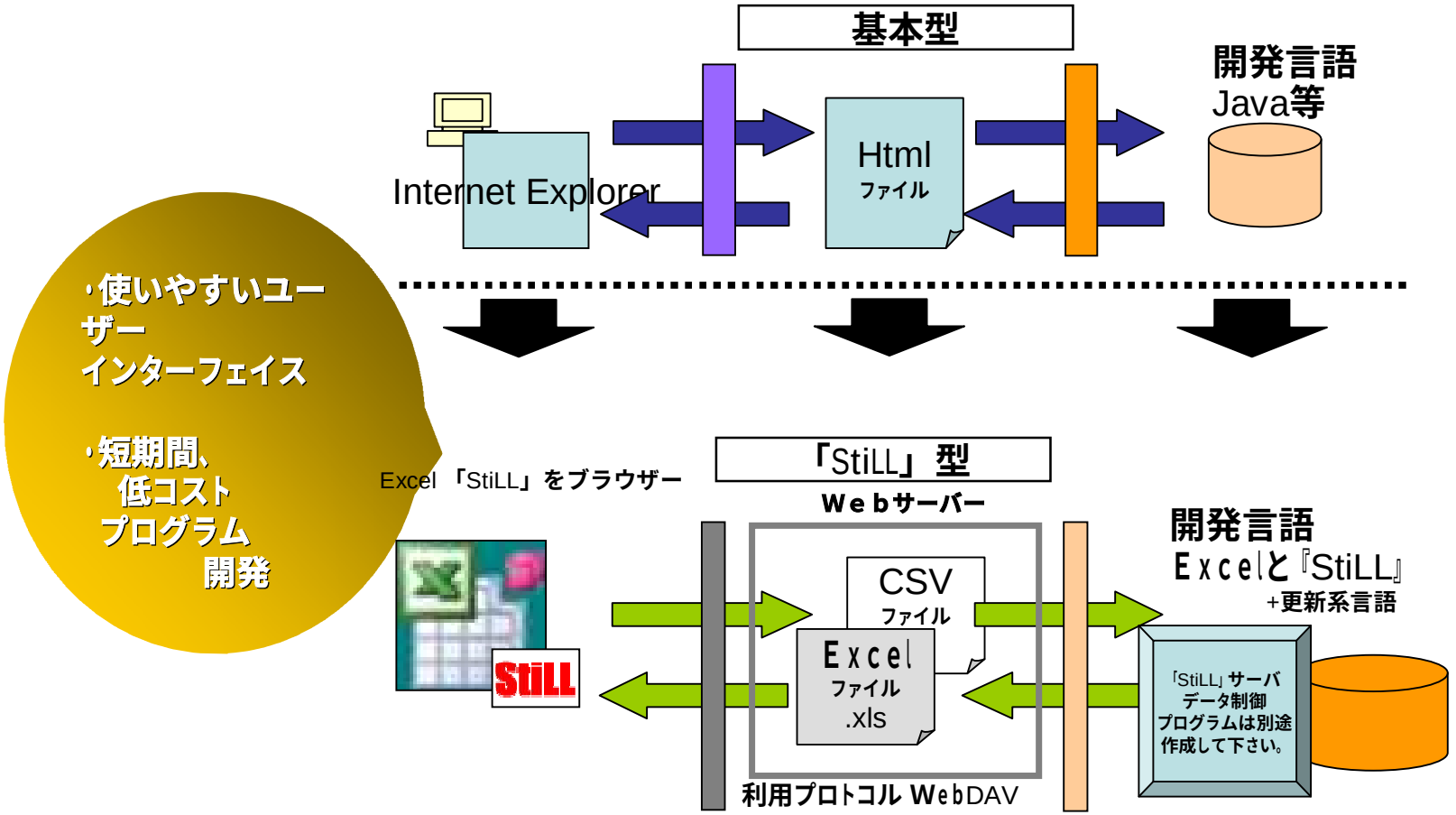
■ これらを企業規模に応じた投資金額の範囲で実現したい

こんな想いのあるDBシステムを実現!!

開発工数→ 1/5以下
開発依頼→ 1/3以下

Webシステム構築

『StiLL』のWebシステムは基本三層構造ですが、ブラウザー、ファイルを
Excel・『StiLL』 xls・csv・(xml)　DB の三層構造で実現します。



■ADSL等のインターネット回線上では
WebDav
プロトコルを
利用

■SBC環境でのサーバー型 Webシステム　　シンクライアント環境で動作します。

・Citrix Presentation　・Go-Global　・旧タランテラ　等のSBC環境を利用します。

住宅設備機器製造販売プロセスシステム
引き合い情報から納品までの情報を共有
Mailでコミュニケーション

自社
業務部

施工
会社

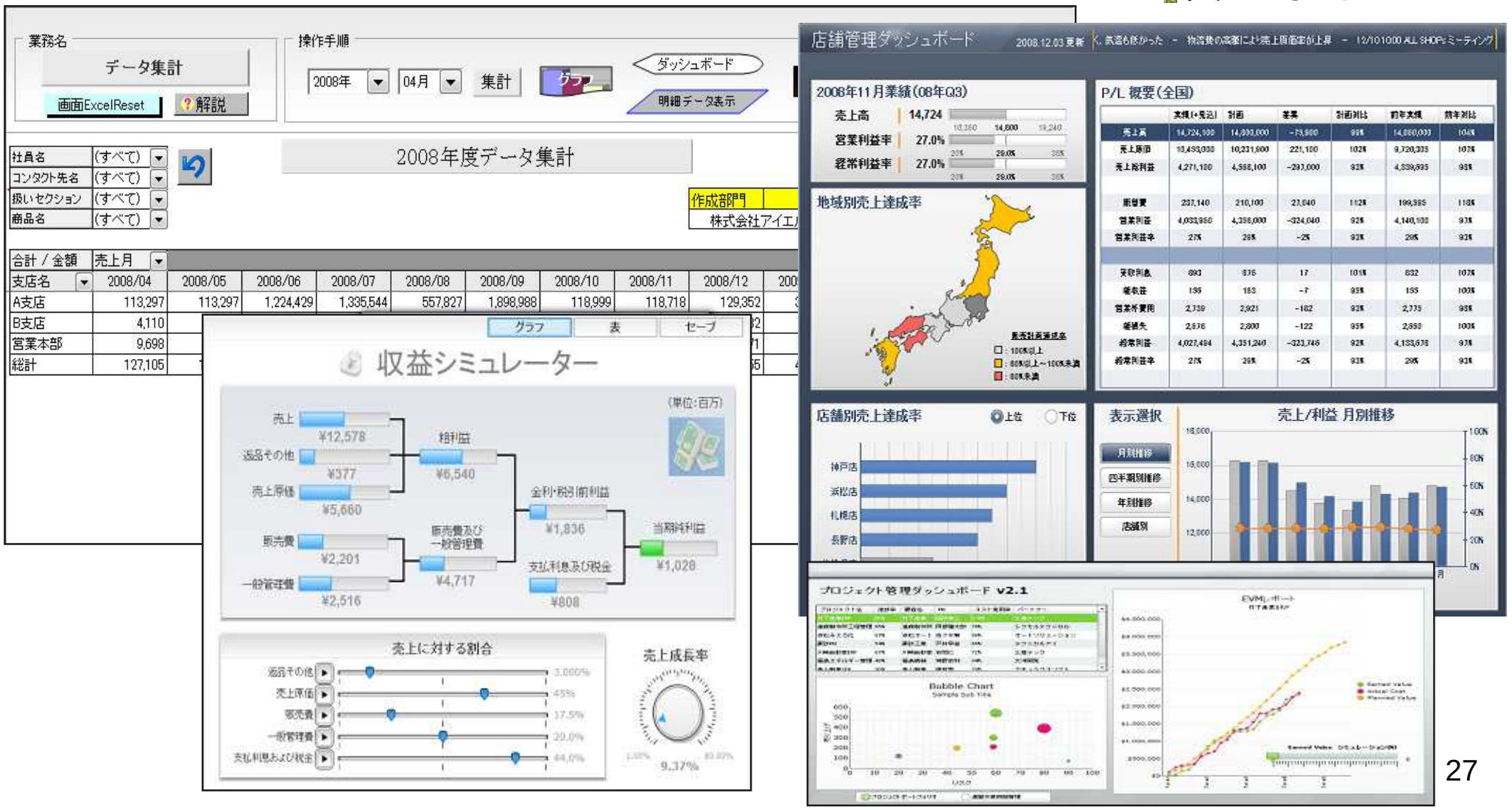
MAIL

BI 経営ダッシュボード　経営者・責任者のIT活用

Excel ピボットテーブル +「StiLL-X」+ Xcelsius

OLAP 機能

ダッシュボード



◆ ソリューション事例紹介III◆

システム名　基幹システム連動　集計スーパーアプリケーション（スペシャルパッケージ）

会社名　　株式会社 アイエルアイ総合研究所
業種　　ソフトウェア開発･販売業

■「StiLL集計スペシャルパッケージ」
製品･ノウハウ･サービス（ITコンテンツ）をアソート
スーパーアプリケーションを開発可能に!

＜製品開発の背景と狙い＞

株式会社アイエルアイ総合研究所では、Excelを扱っている関係からお客様から集計業務に関するシステム化のご意見･ご質問･開発依頼がこの14年間常にありました。そしてExcelとExcelの関数と「StiLL」等を利用して集計システムを開発してきました。簡単なものはお客様のエンドユーザーが開発、難易度の高いものは依頼されて開発の形態で実施してきました。

ILIは2009年6月にExcelの機能を大きく補完した「StiLL-X」を開発しました。「StiLL-X」はExcelをデータベースとして扱えます。Excelでクエリーやマージが可能となりました。

＜課題･解決＞

そこで「StiLL集計スペシャルパッケージ」は「StiLL」を核としたアソート（assort）製品で下記課題を解決!

① どんな集計表でも関数やVBAを利用しないで”超”短時間開発可能に。
② お客様のエンドユーザー、技術者、Sier技術者の誰でも開発可能に。
③ 仕事の手順やガイド付きシステムに。

Excel集計自由自在!! Excel EUC統制対応

情報系システムプログラム開発

「StiLL 集計スペシャルパッケージ」

「StiLL」+集計テンプレート+オンサイト開発サポート

Professional 2L 共有版 30L　集計テンプレート付き　家庭教師型開発サポート

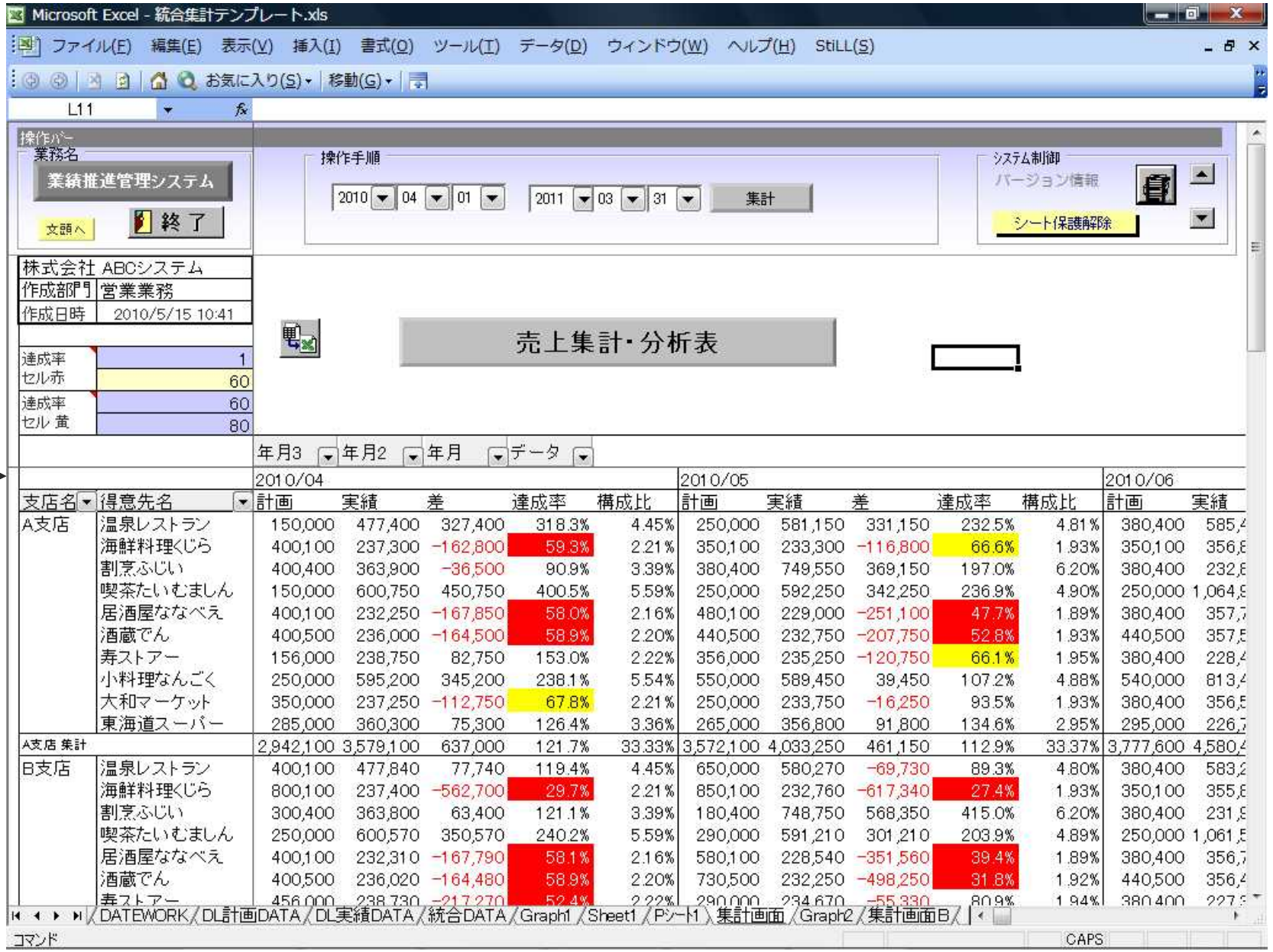
「StiLL-X」Professional版	「StiLL-X」共有版	集計テンプレート	StiLL デザイン研修 オンサイト開発サポート
■プログラム 開発ツール ■業務手順 メニューテンプレート コンボボックス テンプレート その他様々な テンプレート	■プログラム 実行用ランタイム ■利用形態で 必要なクライアント とそうでないクライアント設定になります。	■計画・実績 差・達成率・構成比 表、グラフ ■計画・実績・前年 対比 表、グラフ 2種類の テンプレート	■StiLL デザイン研修 2日間の基礎研修 ■オンサイト開発 サポート 家庭教師型 集計テンプレート 開発サポート 2日間

◆ 集計テンプレート-1◆

Excelファイル
計画
データ

実績
データ
csv

※DB連動
その他データ
連携
カスタマイズ
可能。

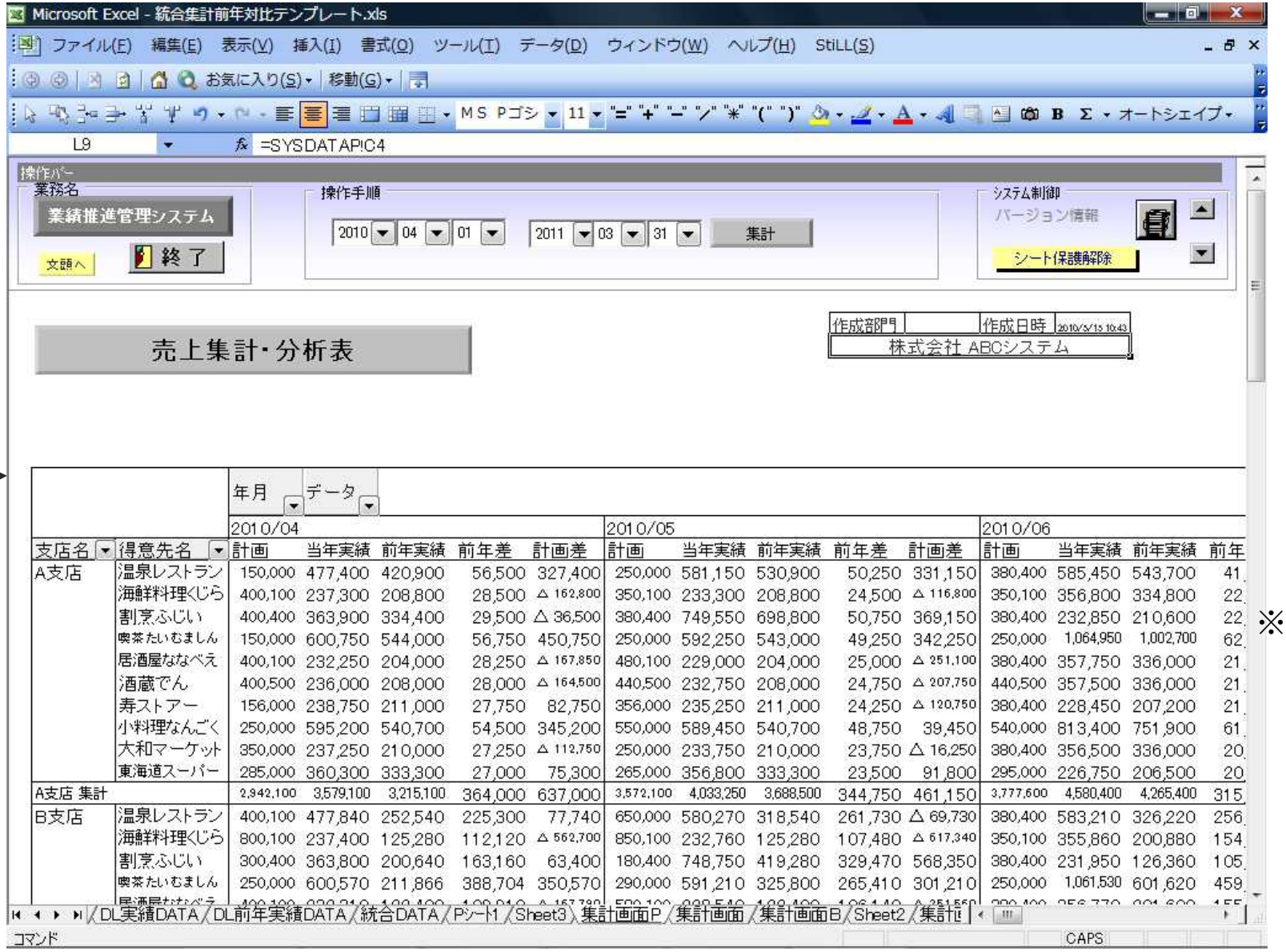


◆ 集計テンプレート-2◆

Excelファイル
計画
データ

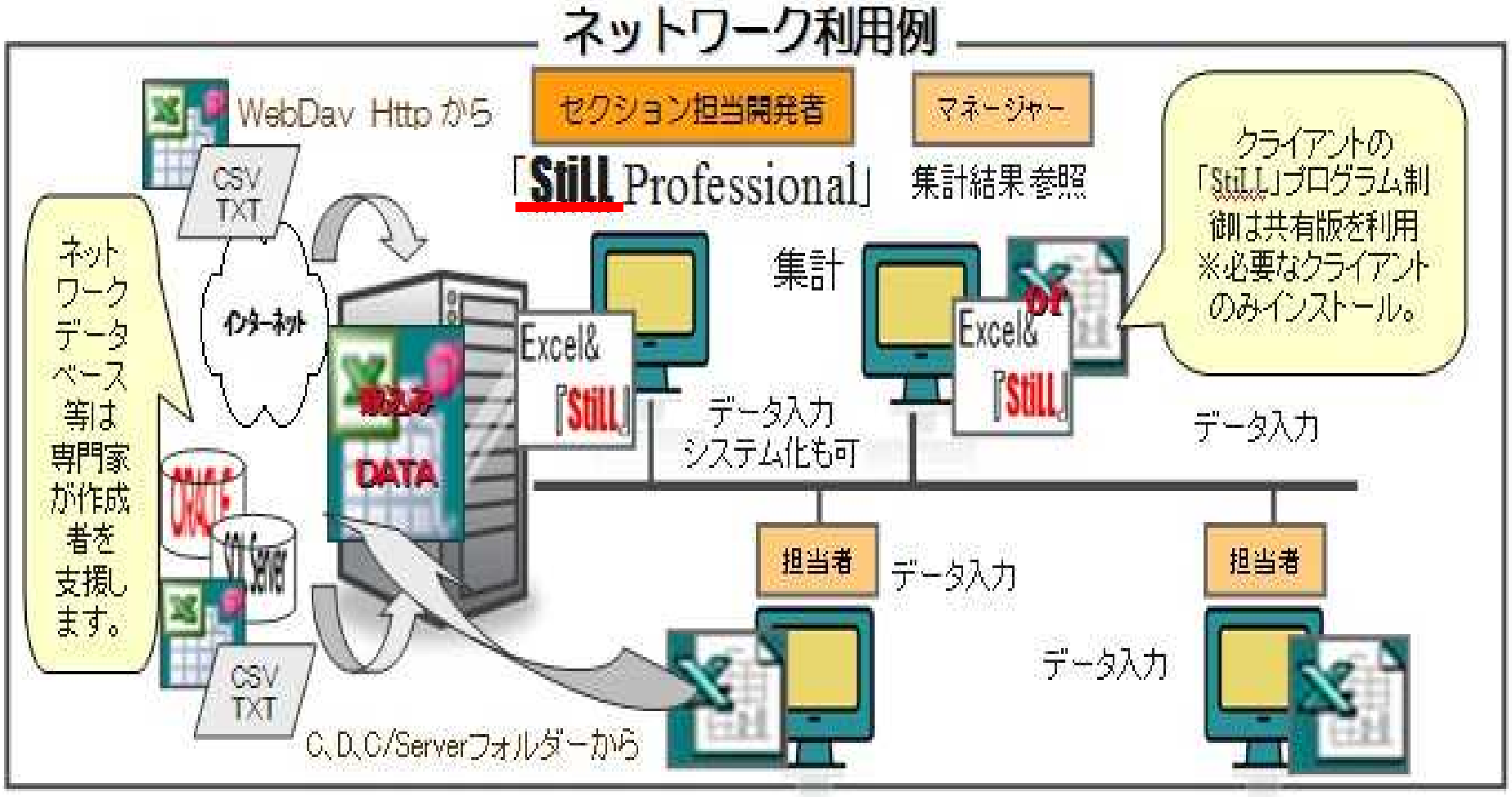
実績
データ
CSV

前年
実績
データ
CSV



※DB連動
その他データ
連携
カスタマイズ
可能。

◆システム図◆


ネットワーク利用例
WebDav Http から
CSV
TXT
セクション担当開発者
「StiLL Professional」
マネージャー
集計結果参照
クライアントの
「StiLL」プログラム制
御は共有版を利用
※必要なクライアント
のみインストール。
ネット
ワーク
データ
ベース
等は
専門家
が作成
者を
支援し
ます。
インターネット
DATA
Excel&
『StiLL』
集計
データ入力
システム化も可
データ入力
担当者
データ入力
担当者
データ入力
C、D、C/Serverフォルダーから

■まとめ

＜課題･解決と「StiLL集計スペシャルパッケージ」＞

EUC利用や業務システムとしてのExcelの使い方と「StiLL」による統制

誕生から20年あまりが経過し、Excelはオフィス業務に欠かせないツールとして存在しています。Excelを前提とした情報処理やフローが業務を成り立たせている世の中の大半の企業は、Excel業務利用が必然となっています。しかし、Excelのファイルのセキュリティ課題や数式、マクロ･VBAの記述･活用の個人依存度･共有が問題視されるようになってきました。財務情報の「スプレッドシート統制」の管理の重要性もありますが、経営や業務の推進･管理のための情報の宝の山のExcel情報を活用する場合、その課題対応機能をExcel自身が装備していない事もあり、情報の取り扱い、運用が複雑になってきた今、更に課題を生んでしまっています。

業務ノウハウを埋め込んだ関数やマクロがシート個々に存在、個人に依存されたVBAプログラムは統制が出来ず、その把握･開発やメンテナンスに限界が訪れています。

□「StiLL-X」は課題解決のツールとして技術者はもちろんエンドユーザーもプログラムに関われるツールとして新登場いたしました。

･Excelファイル、CSVファイルやDBに蓄積されたデータを集計･処理、業務手順等の仕組を「StiLL-X」で自動化システム化を短期間･低コストで実現、かつセキュリティポリシー対応のための制御を可能にしました。

･コーディンク（VBA技術）不要かつスパイラル型開発の新開発手法を実現いたしました。

※技術者、エンドユーザーにて開発可能となりました。

Excelに「StiLL-X」の機能を追加（アドイン形式）しました。

従って「StiLL-X」は従来のExcel活用の範囲を大きく拡げ課題解決を実現しました。

Excelをプラットフォームとし

◆既存のインフラ･セキュリティー上（C/S、Webシステム上）で稼働◆Excel、Access、本格DBシステム開発 CSV等の基幹システム連動を実現 !!

■Excel集計システム課題・解決と推進ポイント

Excel活用目的と課題解決目標

【システム化で望む事】
自社内の独自のノウハウを活かしたシステム化を構築したい。
Excelで短期間・低コストでシステム化したい。
追加・改善を担当が異動した時でもスムーズに行いたい。
Excelのシート上にあるデータ等セキュリティを強化したい。

【管理工数の削減】
Excelシステムブックの標準化、テンプレート化
プログラムの標準化
システム基本情報の基幹システムとの連携
企業としてのシステムと個人のExcelの区分け

【実作業工数の削減】　転記や集計の自動化
複数の関係者が入力したExcelブックデータ、他システムから出力されたCSVデータ、TXTデータ、DBデータを元に集計レポートを作成するといった作業を全自動作成可能にする。
※データExcelダウンロードスピード・数式再計算・等も処理速度等 解消したい。

【間違いが生じにくい】
Excel上で計算処理などを行う場合には、テンプレート登録時に計算式やマクロ等の検証、間違いのない正しい結果のみが入手できるようにしておきたい。またユーザがテンプレートに設定されている計算式やマクロ等を恣意的に改変することはできないようにする。他シートやファイルをリンク参照するような仕組みを作成したくない。　※システムやプログラムを見える化したい。

【他システムとの連携が行いやすくなる】
他システムからのデータ取り込みやデータエクスポート・DB更新等を容易に実施したい。これからのBIツールとの連携も意識して行きたい。

【Excel等のバージョンアップ時のプログラム対応をスムーズ
システムの量も多くなるため、WindowsやOfficeのバージョンアップ時の対応も費用をかけることなくスムーズに移行したい。

このようなテーマを実現するには、Webアプリケーションなどの新規開発を行って業務を移行するという選択がありうるが、そう一筋縄ではいかない。ユーザはExcelの操作に慣れきっており、開発技術、スキル等の修得範囲の限界もある。もちろん新たな開発コストが必要になる。加えてこれまでExcel運用で築き上げてきた業務に最適化した定型フォームやシートのフォーマットなどの、まさに業務ノウハウとも言うべき部分がゼロにリセットされることはできれば避けたい。ユーザは手元でExcelを使い続けながら業務が遂行でき、裏では上記のようなデメリットを解消できる工夫があるとよい。

「StiLL集計スペシャルパッケージ」は下記で課題解決します。

◆集計デザインは集計システムテンプレートを利用
　集計表デザインはピボットテーブルで実施、ピボットテーブルを
　一部サポートする仕組みを集計テンプレートでサポート
　※発生しないデータは表示しない点等
◆データの取込み等すべてのプログラムは「StiLL」で開発します。
　※マクロ・VBA技術不要・関数ほとんどゼロ、プログラム上位互換
◆Excelの処理スピードが向上します--従来の20倍以上。
◆Excelの保護等セキュリティの仕組を「StiLL」で強化します。
◆Excelと「StiLL」技術サポートはをStiLLパートナーがサポートします。

■Excel統制 課題・解決と推進ポイント

■Excel活用の課題

■Excelをエンドユーザーがデータ活用する	■Excelで業務システムを開発する
Excelファイルやシートの数が必要に応じて増えてしまい、コピーと原本の区別もつかなくなっている。	稼働環境等に影響される可能性があり、システムが不安定になる可能性がある。
大きなデータを扱う場合 ファイル容量が異常におおきくなってファイルの操作に時間がかかる、 インポート・エクスポート・再計算等で時間がかかり使えない状況になってしまう。	共用フォルダ中のファイルを多人数が利用するために混乱が起きる、又、マクロウィルス・一般保護エラー等のツールとしての脆弱性がある。
データを複数のExcelファイルや別システムに手作業で転記入力していて手間が重複。	Excelファイルが業務フローに基づいて多段階の手作業を経るうちに、入力ミスや意図しない変更などが加わることがある。またバージョン管理が難しい。
共用フォルダ中のファイルを多人数が利用する場合、ファイルの共有時、誤操作等が原因で計算式がおかしくなる。	Excelシートに設定された計算式やマクロによる処理が正しいかどうか検証されておらず、結果出力の信頼性が低い。
Excelシートに設定された計算式やマクロによる処理が正しいかどうか検証されておらず、結果出力の信頼性が低い。 いつも不安になる。	Excelシートにデータが常に保存される場合があり情報保護を厳重にはしていない場合が多く、セキュリティの課題がある。
計算式やマクロは自分で作成してもあとで忘れてしまう事が多いため再利用や追加・改善時に困る。	計算式やマクロは業務部門のスキルに秀でた個人が作成することが多く、内容がブラックボックス化して再利用や改善などが困難になる。
ブック間やシート間のセル参照を行っている場合、フォルダーやシート・数式等に変更が加わったり削除された場合、リンクエラーが多発する。特にブック間リンクによって集計する仕組みを作っている場合、フォルダー・ブック・シートの名称変更、シートの移動・コピーでシートを別ブックへ移動・コピーしている場合等集計元データのがきちんとリンクされているか確認が困難な状況になってしまう。もちろんブックサイズが異常に大きくなってしまう。	ブック間やシート間のセル参照を行っている場合、シート等に変更が加わったり削除されるためにリンクエラーが多発する。特にブック間リンクによって集計する仕組みを作っている場合、フォルダー・ブック・シートの名称変更、シートの移動・コピーでシートを別ブックへ移動・コピーしている場合等集計元データのがきちんとリンクされているか確認が困難な状況になってしまう。もちろんブックサイズが異常に大きくなってしまう。
場合によっては万単位の行／列のシートが利用されることがあり、システム負荷が高くなって生産性が低下する。	Excelだけでは実現しない機能がある。

「StiLL」による課題解決・・・上記課題を解決 !!!

■Excelをエンドユーザーがデータ活用する	■ExcelやDBで業務システムを開発する
◆表計算・文書・集計、分析用に自分もしくはそのグループで利用する。 ・あらためてExcel、ネットワーク、セキュリティのマネージャー教育を実施する。	◆Excelプラットフォームとし「StiLL」でプログラムを作成する。 ・情報系システムをターゲットにし、要件定義から開発までをスパイラル型開発を実践する。又、プログラム標準化、ガイドや仕様書テンプレート等の「StiLL」の機能を活かす。 ・実務セクションの担当が修得する。 ・データやプログラムの保護「StiLL」機能を活用する。
◆会社内で共有する。自動化する。 ・IT活用ポリシーの見直しとプログラム化の修得の実施。 極力プログラム化し、更に他の人がわかるようにする。	
◆伝達する（メール添付等で） ExcelファイルやExcelシートのセルにあるアドレスや文章をMailと連動する。	◆データベースと連携してシステム化する。 ・本格業務システムを開発する。業務手順の仕組化もスムーズEUC活用と区分けしましょう。

◆「StiLL集計スペシャルパッケージ」特長◆

「StiLL集計スペシャルパッケージ」は下記のソリューションを実現します!

◆どんな複雑な集計表もシステム化可能です。

◆短期間・低コスト・メンテナンススムーズとなります。

◆Excelの問題点（処理速度等）を解消
データの保護、Excel統制を可能にしました。

◆エンドユーザー部門にて開発可能です。グラフ・OLAP活用可能です。

◆Excelと「StiLL」を「StiLLパートナー」やILI総研がサポートします。

次の「StiLL-ITアソート製品」は

「StiLL見積作成スペシャルパッケージ」

を予定しています。

2010年8月リリース予定

「StiLL-X」新登場 新機能

■ Excelをもっと活用 「StiLLボタン」の機能拡大と充実
・エンドユーザーコンピューティング推進
・スパイラル型開発 (要件定義) が更にスムーズに

■ BI 開発ツールとして活用 StiLL+Xcelsius
・ダッシュボードシステムの実現
・Excel OLAP 確立

◆ ExcelをDBシステムとして
構築出来るような新機能の追加

・ Excelデータと
入力フォームとの連携機能
・Excelデータテーブルへの
新規登録・更新・削除
・Excelデータテーブルの
クエリーとマージ機能

◆ BI システムの実現 (Kit製品)
DBとExcel、Xcelsius連動

・ピボットテーブル制御

・ダッシュボード (Xcelsius)
と連動機能 (オプション)

※Xcelsius単体では販売はしていません。
「StiLL」のお客様は別途ご相談ください。

★ Excel DBシステム
・ボタンテンプレートの追加
・システムテンプレート追加
・上記用開発テンプレート

★ BI ダッシュボード開発ツール (オプション)
・Xcelsius (SAP製品OEM)
・システムテンプレート
・上記用開発テンプレート

■Excelを使ったデータの加工

・StiLLがない通常の使い方

	A	B	C	D	E
1	得意先名	実績	支店名	年月日	集計用項目
2	喫茶たいむましん	211,000	A支店	20070401	A支店200704
3	温泉レストラン	210,000	A支店	20070401	A支店200704
4	小料理なんごく	332,800	A支店	20070402	A支店200704
5	喫茶たいむましん	210,000	A支店	20070506	A支店200705
6	小料理なんごく	332,800	A支店	20070506	A支店200705
7	割烹ふじい	364,400	A支店	20070506	A支店200705
8	割烹ふじい	334,400	A支店	20070506	A支店200705
9	割烹ふじい	210,600	A支店	20070602	A支店200706
10	海鮮料理くじら	334,800	A支店	20070602	A支店200706
11	居酒屋ななべえ	336,000	A支店	20070602	A支店200706
12	酒蔵でん	336,000	A支店	20070605	A支店200706
13	寿ストアー	207,200	A支店	20070605	A支店200706
14	温泉レストラン	333,700	A支店	20070605	A支店200706
15					
16					
17	喫茶たいむましん		A支店	20071201	
18	小料理なんごく	246,400	A支店	20071201	A支店200712
19	喫茶たいむましん	70,000	A支店	20071201	A支店200712

得意先名と年月

= C2 & MID(D2,1,6)

①集計用項目をデータの横列に作成
数式をデータの最下行までコピーして作成

支店名	年月	実績合計
A支店	200704	753,800
A支店	200705	1,241,600
A支店	200706	2,300,800
A支店	200707	0
A支店	200708	0

=SUMIF(DATA!E:E,A1&A2,DATA!B:B)

②集計用項目をSUMIIF関数の検索条件にして各値を集計

➢数式をデータの最下行までコピーをするのを忘れて途中までしか計算されない

➢ 行数が大量にある場合、セルに値をいれる度に再計算がかかり、時間がかかってしまう

・StiLLを利用した使い方

年月：’==MID(D7,1,6)

得意先名	実績	支店名	年月日	年月
S	N	S	N	N
				==MID(D7,1,6)

①項目式を設定して
「レコード取得」ボタンを実行

レコード取得

データ

得意先名	実績	支店名	年月日
喫茶たいむましん	211,000	A支店	20070401
温泉レストラン	210,000	A支店	20070401
小料理なんごく	332,800	A支店	20070402
割烹ふじい	334,400	A支店	20070402
海鮮料理くじら	208,800	A支店	20070402
居酒屋ななべえ	204,000	A支店	20070403
酒蔵でん		A支店	20070404
寿ストアー		A支店	20070405
温泉レストラン		A支店	20070405
大和マーケット	210,000	A支店	20070405

得意先名	実績	支店名	年月日	年月
喫茶たいむましん	211,000	A支店	20070401	200704
温泉レストラン	210,000	A支店	20070401	200704
小料理なんごく	332,800	A支店	20070402	200704
割烹ふじい	334,400	A支店	20070402	200704
海鮮料理くじら	208,800	A支店	20070402	200704
居酒屋なな				00704
酒蔵でん				00704
寿ストアー				00704
温泉レストラン	210,900	A支店	20070405	200704
大和マーケット	210,000	A支店	20070405	200704
東海道スーパー	333,300	A支店	20070406	200704
喫茶たいむましん	333,000	A支店	20070408	200704

数式はなし

元データに年月項目が
追加された表が生成される

支店名	年月	実績
S	N	N
グループ化	グループ化	合計

レコード取得

②グループ化合計をおこなう
項目式を設定して
「レコード取得」ボタンを実行

支店名	年月	実績合計
A支店	200704	753,800
A支店	200705	1,241,600
A支店	200706	2,300,800
A支店	200707	0
A支店	200708	0

支店、年月別実績合計表が
生成される

データの加工

■「レコード取得」 ・・・ *レコードデータからデータを様々に加工・生成*

データ加工の仕組みが自由自在!

- **条件抽出** 名前や日付期間などの条件で抽出
- **項目抽出** 項目の限定、項目の順番を変更
- **元データにない項目の作成** Excelの数式を利用した項目の追加
- **関連データ参照** 別のマスターデータ等を参照表示
- **数式の値化** 再計算をしない軽い表の作成
- **集計** グループ化して合計を表示

■「レコード複合取得」 ・・・ *複数ファイルのレコードデータからデータを様々に加工・生成*

- **ファイル統合** 項目ファイルでのデータ統合
- **シート統合** 複数シートのデータ統合

■「レコード取得」

	A	B	C	D	E	F	G
1	商品コード	商品名	単価	種別	原価	メーカー名	使用中
2	A101	枕	5000	A	1500	ﾆｼｶﾞﾜ	
3	A102	シーツ	5500	A	3000	ﾐﾅﾍﾞ	
4	A103	布団	12500	B	7000	ﾌﾘｽ	
5	A104	ぬいぐるみ	3500	B	2000	ﾆﾄﾐ	
6	A105	カバー	1200	B	8800	ﾆｼﾉ	
7	A106	TEST	3800	C	4200		

対象
元データ

■機能名：レコード取得（クエリー）
BtRecordQuery　　様々に加工・生成

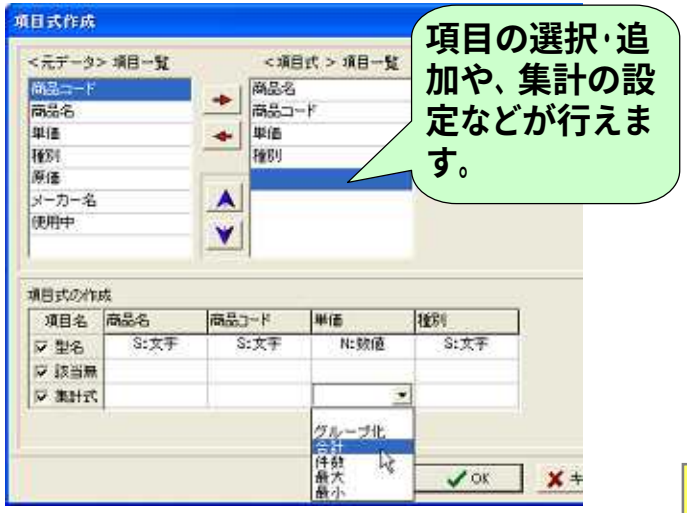
Excelデータをいろいろな条件で取得することができます。項目選択、追加・JOINやグループ化など取得方法の指定が行え、Filter機能よりも使いやすく多機能なデータ取得機能です。

①グループ化した合計値を取得
（種別ごとの単価合計）

種別	単価
S	N
グループ化	合計

レコード検索

種別	単価合計
A	10500
B	17200
C	3800



項目の選択・追加や、集計の設定などが行えます。

③ 取得する項目を限定・項目選択と順番の設定が簡単!!

商品名	商品コード	単価	種別
S	S	N	S

レコード検索

商品名	商品コード	単価	種別
枕	A101	5000	A
シーツ	A102	5500	A
布団	A103	12500	B
ぬいぐるみ	A104	3500	B
カバー	A105	1200	B
TEST	A106	3800	C

④元データにない項目の追加も可能

	A	B	C
		原価	消費税
		N	
			==B8*5%
5		レコード取得	
6			
7		原価	消費税
8		1,100	6,160
9		3,000	2,170
10		7,000	2,410

Excelの数式を記述

アスタリスクを使う
検索も可能です。

②検索条件を指定してデータ取得

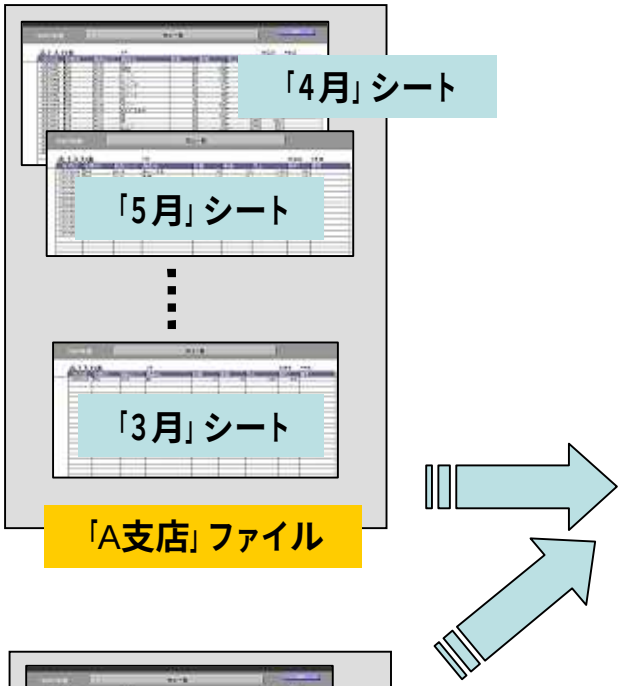
メーカー名
ﾆ*

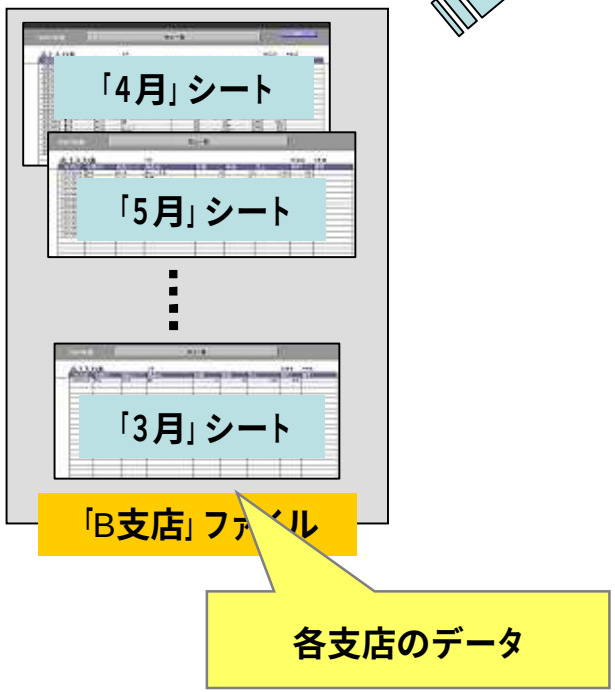
レコード検索

商品コード	商品名	単価	種別	原価	メーカー名	使用中
A101	枕	5000	A	1500	ﾆｼｶﾞﾜ	
A104	ぬいぐるみ	3500	B	2000	ﾆﾄﾐ	
A105	カバー	1200	B	8800	ﾆｼﾉ	

■「レコード複合取得」

①複数ファイル･複数シートのデータを統合





各支店のデータ

A支店　4月～3月
B支店　4月～3月
のデータを統合

■機能名：レコード複合取得（マージ）BtMerge

様々に加工･生成

複数シートや複数ファイルのExcelデータを統合、集計することができます。

②データを統合した集計が可能

支店名	数量合計	単価合計
A支店	15,889	56,035
B支店	14,206	56,035

A支店　4月～3月
B支店　4月～3月
のデータを集計

Excelデータ処理

ブック間リンク･マクロ･VBA不要！

■Excelクエリーでデータ項目･集計自由自在!! JOINやグループ化･集計簡単

「レコード取得」機能を使うことでExcelレコードのクエリーが可能!

「レコード複合取得」機能を使うことで複数ファイルのマージも可能!

■数式 ゼロ 実現!? する「StiLL」機能

だから速い 再計算に時間がかからなくなります!

■数式ロジックチェックもスムーズ

数式部分が明確化します!

成果

ExcelとStiLLの機能を活用することで作成工数を軽減

これから作るExcel システム、
今のExcel システムの作成し直し!
いかがですか?

作りやすい･直しやすい
短時間･低コスト･メンテナンススムーズ　システム作り

■「StiLL」コンテンツ ご紹介

StiLL
オプション
プログラム

■STSETODBC：ODBC名ソース名設定プログラム Professional 以上に同梱　無料

■StiLL開発テンプレートキット　システムサブルーチン･特殊テンプレート ¥100,000/1 L契約

■StiLLマネージャー：StiLLのインストール制御　すべてのStiLLに同梱　無料

■StiLLスタート：StiLLアプリとExcelを分離独立制御プログラム　¥15,000/1部門(消費税別途)
※Developers版のみ同梱。

■StiLL Loader：SBC環境設定プログラム　¥100,000/1サーバー(消費税別途)

■StiLL Timer：タイマーによるプログラム起動　¥100,000/1システム(消費税別途)

■StiLL Mail：送信用メールソフト　¥100,000/1システム(消費税別途)

■StiLL Get Mail ：メールサーバーからMailデータを検索、取得 ¥100,000.-/1システム(消費税別途)

StiLLの
デモサイト

下記URLよりご覧ください。
http://www.still.co.jp/whatstill.html

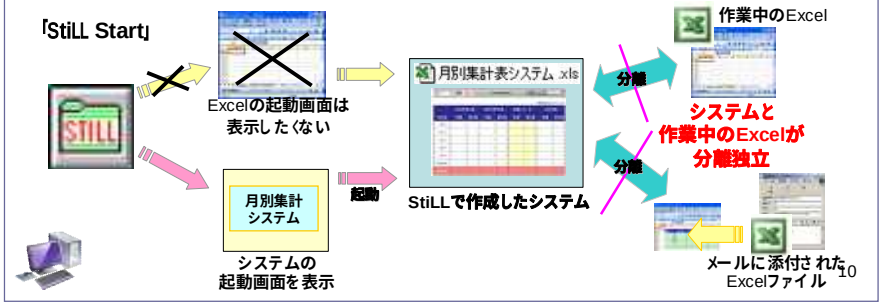
StiLL
小冊子
ガイド

下記URLよりダウンロードしてご利用下さい。
https://wn.cococica.com/ili-presentation/SmallBookStiLL02.pdf

「StiLL-X」オプションプログラム
「StiLL Start」 15,000.-/1system (消費税別途)

概要
①StiLLファイルを起動するためのアプリケーションプログラムです。

特長
①「StiLLStart」を使うとStiLLで作成したシステムの起動ができます。
② Excelの起動画面がない状態でシステムの起動が可能です。
③作業中のExcelとは別のExcelでシステム起動がおこなえます。
④システムの起動中にエクスプローラやメールに添付されたExcelファイルを起動しても、システムに影響を与えません。



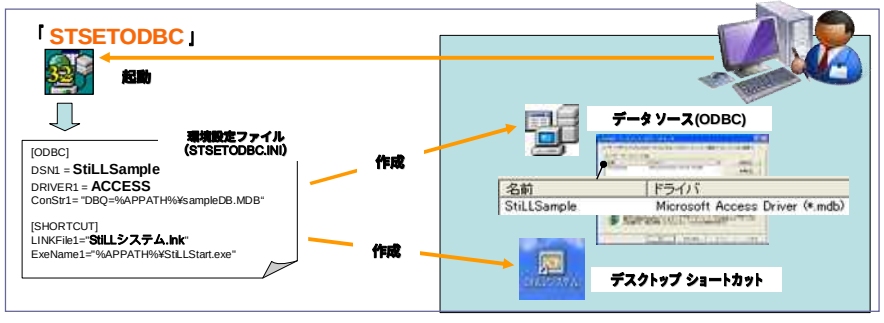
「StiLL」オプションプログラム

「StiLL-X」オプションプログラム
「STSETODBC」 無料

概要
ODBCソース名設定プログラムです。

特長
①「STSETODBC」を使うと環境設定ファイルの内容に応じたODBCソース名を自動的に作成できます。
② デスクトップにシステムを起動するショートカットの作成も可能です。

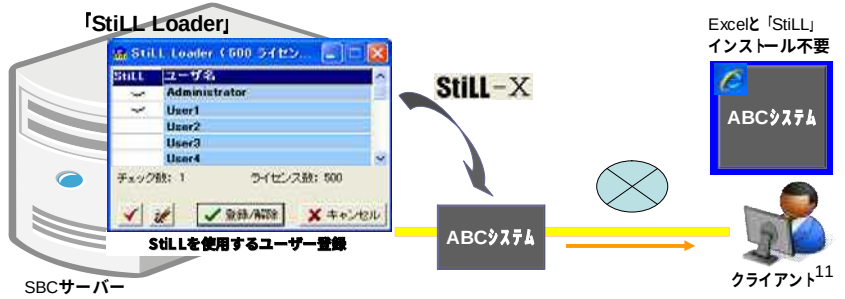
「StiLL-X Developers・Professional」に同梱されています



「StiLL-X」オプションプログラム
「StiLL Loader」 100,000.-/1Server (消費税別途)

概要
①SBC環境 (Server Based Computing環境)
Go-Global
Citrix Presentation (旧 MetaFrame)
Sun Secure Global Desktop Software (旧 Tarantella)等
でStiLLを動作させるためのツールです。

特長
①「StiLL Loader」を使うとSBC環境でStiLLを動作させることが可能です
②StiLLを使用するユーザー管理が可能です

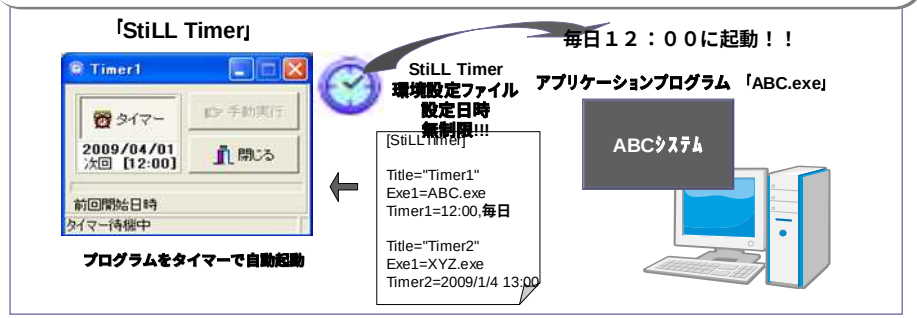


「StiLL Timer」 ※Excelアプリではありません

100,000.-/1system (消費税別途)

概要
①様々なプログラムを
タイマーで起動する
ツールです。

特長
①日時指定だけでなく、毎週何曜日の時間指定や毎日の時間指定といったことが可能です。指定は何件でも可
②StiLL Timerの設定は、すべてStiLLTimer環境設定ファイル(.INI)からおこないます。

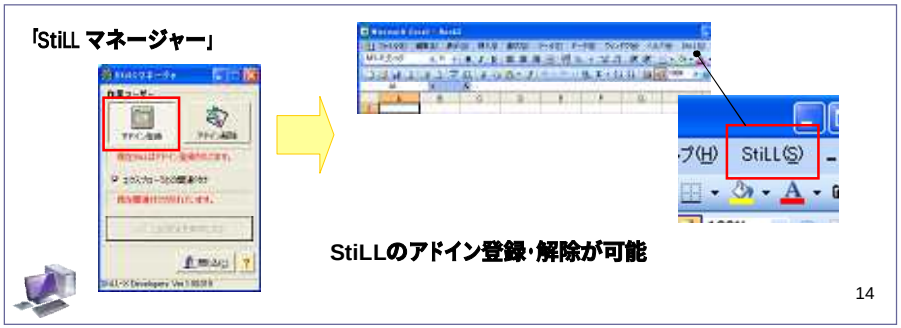


「StiLL-X」オプションプログラム
「StiLL マネージャー」 無料

概要
①StiLLのアドイン登録・解除をおこなうアプリケーションプログラムです。

特長
①「StiLL マネージャー」を使うとStiLLのアドイン登録・解除をおこなうことができます。
② インストールユーザーでない別ユーザーにStiLLを利用させたいとか、StiLLをアンインストールしないで解除したいといったことが可能です。

「StiLL-X」に同梱されています



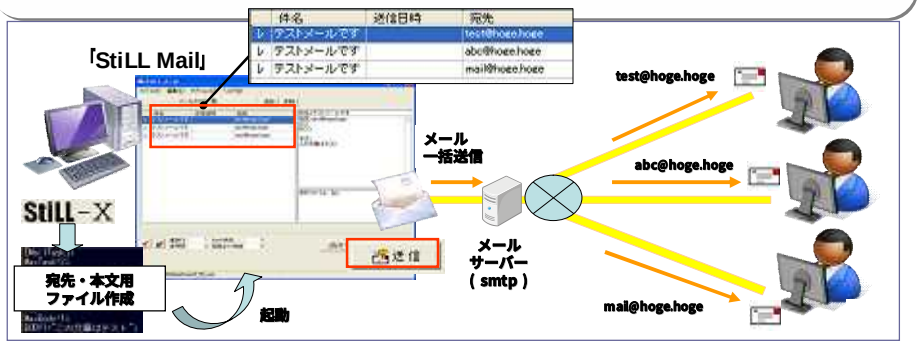
「StiLL Mail」 ※Excelアプリではありません

100,000.-/1system (消費税別途)

Outlook Becky をシステムで利用がむずかしい！

概要
①メールの送信を可能にするアプリケーションプログラムです。

特長
① 「StiLL Mail」を使うとメールの一括送信が可能になります。
② StiLLと連携することにより、Excelの中にあるメールアドレス、文章等を連動する、一括メール送信やシステム連動送信をおこなうシステムが可能です。



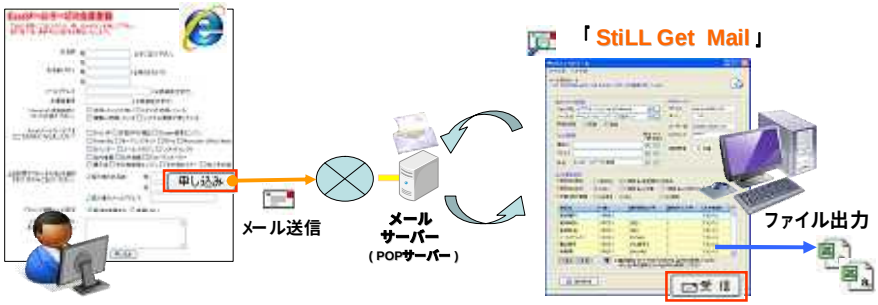
メールサーバーから条件検索、データファイル化 さらにシステム化 ！

「StiLL Get Mail」 ※Excelアプリではありません

100,000.-/1system (消費税別途)

概要
①メールサーバーからMailデータを検索、取得が可能なアプリケーションプログラムです。

特長
① 「StiLL Get Mail」で設定したルールによるメール受信とテキストファイルへの出力が可能です。
②StiLLとの組み合わせでメール受信連携のシステムも可能です。



Excel ワンポイントレッスン

① 日付の表示形式

Excelで曜日を表示するとき、どうしますか？

http://www.still.co.jp/excel/support/174ems.xls

② 時間の計算

24時間を越える時間を表示したいときは？

http://www.still.co.jp/excel/support/093ems.xls

③ 金額の表示単位

金額を千円単位にしたいときも、表示形式で簡単に！

http://www.still.co.jp/excel/support/186ems.xls

「StiLL-X」How to Use ご紹介

「StiLL-X」How to Use

ご好評いただいています!!!

ハウツーテンプレートシステム説明は事例研究フォーラムにて毎回実施します!

IT活用リテラシーツール

適応種類 StiLL **D**evelopers、**P**rofessional or **S**tandard
自分で作る or **ハウツーテンプレートを買って使う、直す**

ダウンロード(無料)して
いろいろ試してみる!

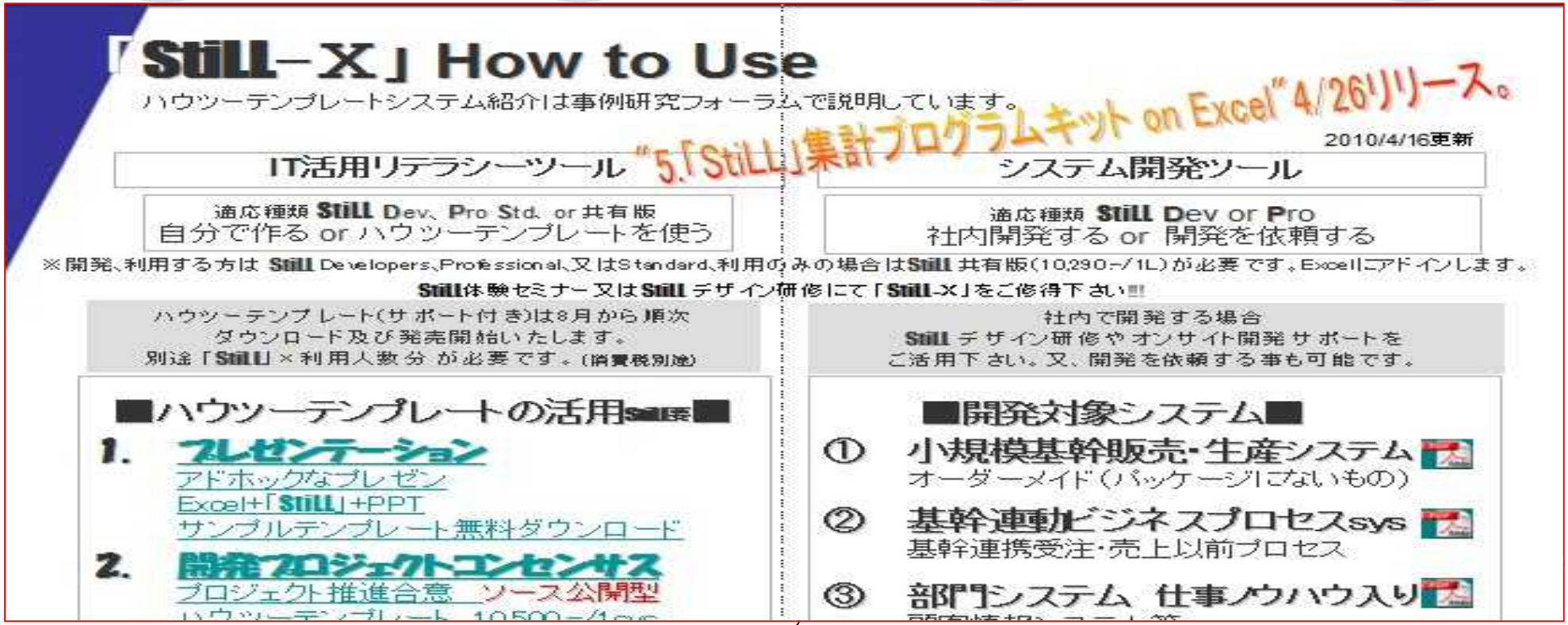
購入して使う
直して使う!

システム開発ツール

適応種類 StiLL **D**evelopers or **P**rofessional
社内開発する or **開発を依頼する**

どんなシステムが構築
可能か確認する!

社内開発か!
依頼するか!



「定期コンタクトメール」体験版（後日ダウンロードMailが届きます。）

※アンケートご記入者の方に!（「StiLL-Ｘ」の体験版はホームページダウンロード実施していません!）

「StiLL-Ｘ」体験版は会場でご要望下さい。

★定期コンタクトメール体験版をダウンロードして試用されませんか?

メールソフトは

「Outlook・Outlook Express・Windows**メール**」

限定です。

・**ダウンロードURL：https://wn.cococica.com/ili-presentation/ContactMailT.xls**

※**下記メールが届いてからダウンロード（2010/5/21から―2010/5/28限定）お願い致します。**

★起動方法

※当フォーラムにご参加された方には、後日上記URLが記載されたお礼メールをお送り致します。

※テンプレートをお使いいただける環境が無い方の為に、StiLL体験版をご用意しています。
必要な方はフォーラム終了後にお申し出ください。

ソリューションコンテンツ

アイエルアイ総合研究所 「StiLL-X」	日本ファイナンシャル・ エンジニアリング株式会社	株式会社BCC
■StiLL 体験セミナー （ハンズオン）に ご来場下さい。 ※StiLL体験版 差し上げています。	■「StiLL」開発見積り	■システム構築 ■コンサルティング
■「StiLL-X」 設計・開発ツール ■「StiLL-X」システム 請負開発 ■「StiLL-X」ビジネス テンプレート ■BI ダッシュボード システム開発支援 ■システム構築相談 教育・研修	■ITビジネス活用 ソリューション提案 ■教育・研修 ■「StiLL」による システム開発 ■「StiLL」開発支援 業務受託	■ITビジネス活用 ソリューション提案 ■教育・研修

Office2010

http://www.microsoft.com/japan/office/2010/default.mspx

■Excel2010　パワフルで視覚的なデータ分析を作成

Excel 2010 の新しいデータ分析とビジュアル化機能で、データの重要なトレンドを追跡し把握します。

新しいスパークライン機能は、ワークシートのセル内に小さなグラフを埋め込んで、データの視覚表現を明瞭かつコンパクトに仕上げます。

スライサーを使えば、ピボットテーブルのデータを複数の層に絞り込めるので、書式設定の時間を減らして分析に専念できます。

『Office 2010』、64ビット版では旧版アドインの多くが動作せずご注意ください。

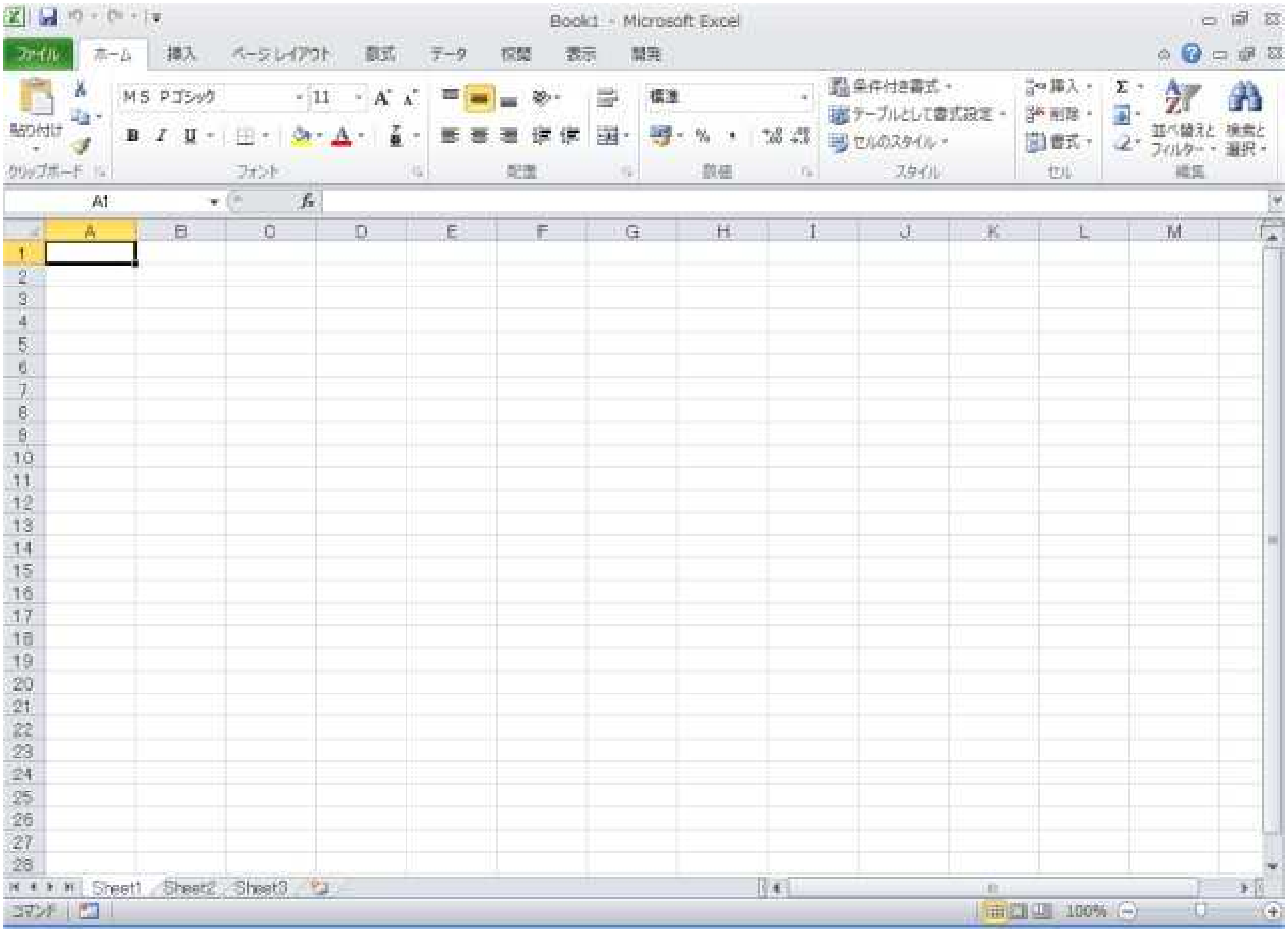
■Microsoft Office Web Apps

Office 2010 の利用シーンを Web 上に拡大します。Word、Excel、PowerPoint、OneNote のファイルをオンラインで保存して、表示、編集、共有が Web 上で行えます。

※VBAはなし

※Excel2003 と共存するので
機能、関数、ファイルの大きさ等
利用するうえでご注意ください。

Excel 2010


Book1 - Microsoft Excel
ファイル
ホーム
挿入
ページレイアウト
数式
データ
校閲
表示
開発
MS Pゴシック
11
貼り付け
クリップボード
フォント
配置
数値
スタイル
セル
編集
条件付き書式
テーブルとして書式設定
セルのスタイル
挿入
削除
書式
並べ替えとフィルター
検索と選択
A1
Sheet1
Sheet2
Sheet3
コマンド
100%

■おわりに

真の
ITビジネス活用
実現!!!

■Microsoft Windows2008Server
Windows 7 Office2010 のコンセプト
をご注目下さい。 WindowsやOffice改善!

■予定 次回事例研究フォーラム　テーマ: 書類管理システムとITビジネス活用

2010/6/24(木)第14回 13:30～17:00(開場13:10～)	実施内容 ERPシステム連動ソリューション自由自在!!	場所 未定	費用
ソリューションユーザー事例1	■ERPシステム +「StiLL」入出力システム ◆ 入出力システム自由自在!! ◆ 業務プロセス共有	東京国際フォーラム ガラス棟 408会議室	無料 定員 40名
ソリューション事例2 要求開発・スパイラル型	■「StiLL」とは? Excel+「StiLL」でどこまでできるか? 集計システムから経営ダッシュボードご紹介 ■「StiLL-X」によるヒアリングからデモプログラム ■提案・要求開発「StiLL-X」活用		
StiLL研究・ユーザー事例 連携自由自在!!	■「StiLL」とは及び「StiLL-X」新機能 機能紹介 「StiLL-X」で作成する集計プログラムの実際 Excelデータ集計・CSVデータ集計・DBデータ集計		
「StiLL-X」How to Use	「定期コンタクトメール」のご案内と使い方		

■アライアンス推進　== 課題・解決型ユーザー・ソリューション事例研究フォーラム ==
SIベンダー、SIerとの共催 パッケージやERP開発企業とのアライアンス基幹パッケージ
ミドルウェアパッケージ企業との連携 etc. ご興味ございましたらお問合せ下さい。
◆「StiLL」との上手なお付合いを今後ともよろしくお願い致します。
◆ お客様やお知り合いとお誘い合わせの上ご来場をお待ち致しております。